

Ⅲ ヒアリング・アンケート調査結果

1. ヒアリング調査対象

(1)市内の小学生、中学生、高校生、大学生

種類	調査場所	実施日	対象数	調査方法
小学生	ねぎしだい児童館利用者	12月22日(金)	19人	グループ ヒアリング
	みぞぬま児童館利用者	1月9日(火)	21人	
	ひざおり児童館利用者	1月10日(水)	12人	
	溝沼放課後児童クラブ	4月22日(月)	9人	
中高生	ほんちょう児童館利用者	1月13日(土)	22人	
	朝霞市立第四中学校生徒	4月25日(木)	10人	
	埼玉県立朝霞高等学校生徒	4月22日(月)	22人	
大学生	アサカシティラボ参加者	1月27日(土)	21人	アンケート

(2)児童館利用者

種類	調査場所	実施日	対象数	調査方法
児童館利用者 (保護者)	きたはら児童館利用者	1月13日(土)	6人	グループ ヒアリング
	はまさき児童館利用者	1月13日(土)	6人	

(3)その他

種類	調査対象	実施日	対象数	調査方法
多胎児サークル	参加者	2月23日(土)	7人	アンケート
あさか子育てネットワーク	イベント参加者	2月20日(火)	4人	個別ヒアリング

2. ヒアリングの主な調査項目・結果の概要

(1)市内の小学生、中学生、高校生、大学生

◆主な調査項目

項目	内容
施設について	・児童館・放課後児童クラブの好きなところ、気に入っているところ ・通うようになったきっかけ ・もっと良くなるといいところ ・「ほんちょう児童館」の利用状況・利用した/しない感想 ・もっと良くなるといいところ(中学校・高校でのヒアリングのみ)
放課後の居場所	・放課後過ごしている場所 ・放課後過ごしたい場所
朝霞市について	・こどもにとって生活しやすいか ・市外の友達などに自慢したいところ ・もっと良くなるといいところ ・ずっと住んでいきたいか
相談窓口について	・相談窓口を知っているか ・相談しやすいか
地域活動について	・地域活動に参加したことがあるか ・地域活動に参加してみたいと思うか ・地域活動に参加できない理由や必要なこと
将来について	・将来のことを考えることはあるか、そのきっかけは何か ・将来 不安なことや知りたいことはあるか ・朝霞市で子育てをしたいと考えるか
普段の生活について	・困っていること、もっと良くなるといいところ

◆主な意見

項目	内容
施設について	小学生 ●児童館の好きなところ ・いろいろな遊びができる。 ・通いやすい、利用しやすい。友達との待ち合わせ場所にも使っている。 ●児童館のもっと良くなるといいところ ・ボール遊びができるような場所がほしい。 ・音楽スタジオがほしい。 ・高学年は携帯を触ってもいいことにしてほしい。 ●放課後児童クラブの好きなところ・気に入っているところ ・おもちゃや本がたくさんある、新しい雑誌が読める ・色々な遊びができる、外で遊べる、お誕生日会がある ・夏休みなどの長期休みには映画が観られる ・宿題ができる ●放課後児童クラブの通うようになったきっかけ ・親が働いているから
	中高生 (児童館ヒアリング) ●児童館の好きなところ ・友達や職員と交流できる、職員が優しい。 ・お菓子や食事をもらえることがあるのでうれしい。 ●もっと良くなるといいところ ・今の児童館が好きなので特に変わってほしいところはない。 ・20時まで開館している児童館を増やして欲しい。 ・小学生が使える部屋と、中高生が使える部屋を分けた方がお互い安心だと思う。

	中高生 (学校ヒアリング)	●利用状況 ・ほとんどの中学生・高校生が知っており、中学生は利用したことがある生徒が過半数だったが、高校生はほとんど利用したことがなかった。 ●感想 ・中学生専用地下室で楽器が演奏できるのが良い ・冷房が効いていて涼しい、綺麗 ・漫画がたくさんあって良い ●もっと良くなるといいところ ・遊戯室をもっと使いやすくしてほしい(ボール遊びできる場所が足りない、卓球の予約を柔軟にしてほしい) ・多目的スペースが1日使えるようにしてほしい ●利用しない理由 ・知らなかった ・人に見られて勉強するのが苦手だから ●どのような施設だったら利用したいか ・どのような施設かがわからないのでパンフレットがほしい ・個室の自習スペースがほしい ・ゲーム大会が開催されている ・Wi-Fi環境が整っている
放課後の居場所	小学生	●放課後 過ごしている場所 ・家 ・習い事 ・児童館 ・学校 ●あると良いところ ・水族館
	中高生	●過ごしている場所 ・ほとんどが部活動または生徒会活動だった ●あると良い場所 ・ショッピングモール ・勉強できる場所、集中できる自習スペース ・ボール遊びができる公園
朝霞市について	小学生	●こどもにとって生活しやすいか ・朝霞市は生活しやすい。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・野菜がおいしい、自然が多い。 ・東京に近くて、遊びやすい。買い物がしやすい。 ・治安が良い。 ●もっと良くなるといいところ ・観光スポットやボール遊びができる場所がほしい。 ・道路を整備してほしい。 ・公園の遊具や木を増やして欲しい。 ●ずっと住んでいきたいか ・ずっと住みたい(多数) ・東京に行きたい、と回答している児童もいた。
	中高生	●こどもにとって生活しやすいか ・電車の利便性は良いが、駅前には遊ぶところが少ない。 ・静かで住みやすい。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・電車が近く、アクセスが良い。 ・雰囲気が明るい、自然が多い。 ●もっと良くなるといいところ ・街灯が欲しい、夜の道が危ない。歩道が狭い。 ・ボールで遊べる施設が少ない。 ・中学生以降遊べる場所が少ない。 ・囲碁や将棋等をやりたい人が集める場所が増えると良い。 ・イベントが少ない。 ●ずっと住んでいきたいか ・大人になったら別のところに住みたい。 ・住むのは朝霞市でもいいが、高校や就職先は朝霞市以外を考えている。

	大学生	●こどもにとって生活しやすいか ・生活しやすい(多数) ・都市に出やすい、交通の便が良い。 ・田舎と都会のちょうど良いバランス。 ●市外の友達などに自慢したいところ ・彩花祭(多数) ・治安が良い、都心に近く交通の便が良い。 ●もっと良くなるというところ ・自慢できるところがほしい。 ・医療費を高校まで無償化してほしい、妊娠出産への支援をしてほしい。 ●ずっと住んでいたい ・思う、結婚を考えた時に子育てしやすい環境だから。 ・思わない、キャリアを考えた時に海外へ挑戦したいと思う。
相談窓口	中高生	●相談窓口を知っているか ・ほとんどが知っていた(学校で配られる小さい冊子で知った)
地域活動について	中高生	●地域活動に参加したことがあるか・参加してみたいと思うか ・参加したことがある人が半数程度、参加したことがない人も参加してみたいと回答した人がほとんどだった。 ・学校で募集があったり、自発的に参加したりしていた。 ●地域活動に参加できない理由や必要なこと ・清掃以外のボランティアを知らない(清掃は衛生的に苦手) ・ボランティアは大人が多く、こどもが参加できるイメージがない
将来について	中高生	●将来のことを考えることはあるか、そのきっかけは何か ・卒業文集等で将来の夢を書いた時 ・総合学習の時間(職業体験や、進路について考える授業等) ・両親と話した時、兄姉の様子を見た時 ・ニュース等を見て ●将来 不安なことや知りたいことはあるか ・将来 日本がどうなるか不安 ・勉強や将来の職業について相談できる人がいない(実際にその進路をたどった人がいない) ・受験をした人(高校生)の話が聞きたい ●朝霞市で子育てをしたいと考えるか ・したいとはっきり回答したのは1人だった
普段の生活について	小学生	●困っていること、もっと良くなるというところ ・遊べるところをもっと増やして欲しい。 ・市内の他の学校と交流したい。
	中高生	●困っていること、もっと良くなるというところ ・体育館と公園の中間のような、気軽に運動できる場所がほしい。 ・朝霞市民が朝霞をもっと好きになるきっかけを増やしたい。 ・坂や道の整備を進めてほしい。

(2) 児童館利用者

◆主な調査項目(保護者)

項目	内容
施設について	・利用頻度、来館目的
遊ぶ場所	・利用する場所、気に入っている点 ・希望する場所等
市内の子育て環境 子育て支援について	・朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・改善を希望する点 ・市内で子育てをしていきたいか ・困っていることや感じていること、希望など
相談機関・窓口等 について	・相談機関・窓口があることを知っているか ・利用しやすくなるために必要なこと

◆主な意見

項目	内容
施設について	●利用頻度、来館目的 ・利用頻度は毎日のように利用している人や月に数回等 様々であるが、定期利用している人が多い。 ・目的は、子どもの遊び場やイベント参加者、ママ友の情報交換等
遊ぶ場所	●利用する場所 ・公園、ショッピングセンター、(おもちゃ)図書館等 ●気に入っている点 ・色々な遊びができる(サッカー、風揚げ、砂場遊び等) ・職員がやさしい ●希望する場所等 ・おもちゃや本を増やして欲しい。 ・スペースや施設数をもっと増やして欲しい。 ・トイレを綺麗にしてほしい、駐車場を充実させてほしい。
市内の子育て環境 子育て支援について	●朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・比較的に子育てしやすい(多数)。 ・同世代のママが多く、子育て世帯が多く引っ越している。 ●改善を希望する点 ・保育園や学童保育に入れない(入れるか不安)。 ・歩道が狭い、車を運転していて危ないと感じる。 ・仕事が休みの日も子どもを預けられるようにしてほしい。 ●市内で子育てをしていきたいか ・ずっと朝霞市で子育てをしたいと思っている(多数) ●困っていることや感じていること、希望など ・朝霞市は転入者が多いので、転入者でもわかるように子育て関連の情報を取りまとめてほしい。(取りまとめた情報には)子育て経験者の声や視点も反映させてほしい。サービスや施設一覧がほしい。 ・所得制限でサービスが受けられない、子育て支援サービスの対象にしてほしい。
相談機関・窓口等 について	●相談機関・窓口があることを知っているか ・利用したことがない(多数)。 ・保健センターや支援センター等で発達成長に関する相談をしたことがある。 ●利用しやすくなるために必要なこと ・今回のようなヒアリング調査を定期実施してほしい。 ・LINEやチャット等であれば相談しやすい。 ・年齢に合わせた相談窓口があるのかを知りたい。

(3)その他

◆主な調査項目

項目	内容
サークル活動について	・参加頻度、参加目的
遊ぶ場所	・利用する場所、気に入っている点 ・希望する場所等
市内の子育て環境 子育て支援について	・朝霞市は子育てしやすい所か、特に良いところ ・改善を希望する点
相談機関・窓口等 について	・相談機関・窓口があることを知っているか ・利用しやすくなるために必要なこと

◆主な意見

項目	内容
サークル活動について	●参加頻度 ・毎月、2～3か月に1回等 定期的に参加している人が多い。 ●参加目的 ・子どもの遊び場や保護者同士の交流などが多い。
遊ぶ場所	●利用する場所 ・児童館や公園。 ●気に入っている点 ・近いところ、のびのび動けるところ。 ・イベントがたくさんあるところ。 ・おもちゃや本がたくさんあるところ。 ●希望する場所等 ・遊園地やこども動物園等 こども向けの施設。 ・駅前におむつ替えや授乳できるスペースが欲しい。
市内の子育て環境 子育て支援について	●朝霞市は子育てしやすい所か ・子育てしやすいという意見と、どちらとも言えないという意見が半々。 ●特に良いところ ・公園が多い。 ・子育て支援センターや児童館等の施設数が多い。 ●改善を希望する点 ・金銭的な補助。 ・子育て施設や支援をもう少し手厚くしてほしい。 ・一時預かりや病児の利用をしやすくしてほしい。
相談機関・窓口等 について	●相談機関・窓口があることを知っているか ・知っている人が多い。 ●利用しやすくなるために必要なこと ・もっと情報発信があると利用しやすい。 ・サービスについてもっと知りたい。

3. 妊娠中・出産後の方に向けたアンケート

■調査実施概要

①妊娠中の方

種類	配布場所	対象数	調査期間	調査方法
妊娠届を提出された方	子育て世代包括支援センター	配布数:115人 回収数:30人	1月4日(木)～ 1月31日(水)	直接配布 郵送又は WEB回収

②お子さんを出産された方

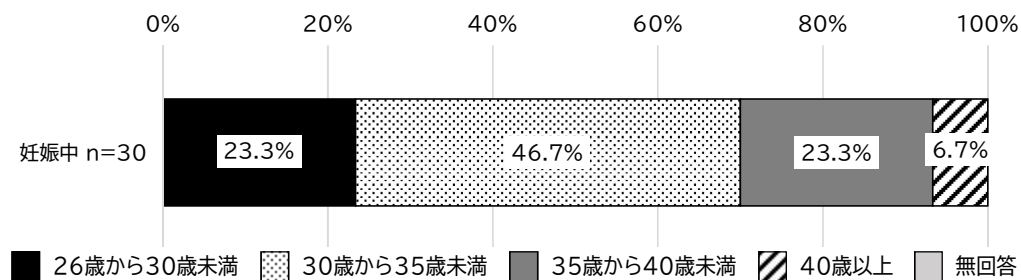
種類	配布場所	対象数	調査期間	調査方法
4か月健診を受診されたお子さんの保護者	保健センター	配布数:88人 回収数:40人	1月10日(水)、 1月24日(水)	直接配布 郵送又は WEB回収

(1)年齢

<妊娠中:問1>

あなたの年齢をお答えください。

妊娠中の方は「30歳から35歳未満」が46.7%と最も多く、次いで「26歳から30歳未満」と「35歳から40歳未満」がともに23.3%、「40歳以上」が6.7%となっています。



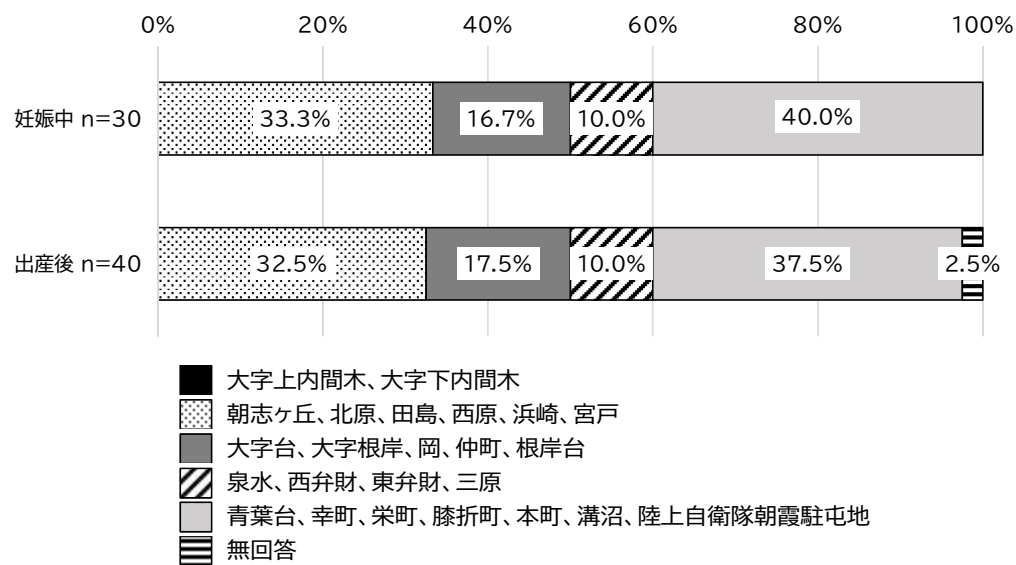
(2)居住地区

<妊娠中:問2、出産後:問1>

お住まいの地区をお答えください。(単数回答)

妊娠中の方は「青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地」が40.0%と最も多く、次いで「朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸」が33.3%、「大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台」が16.7%、「泉水、西弁財、東弁財、三原」が10.0%となっています。

出産後の方は「青葉台、幸町、栄町、膝折町、本町、溝沼、陸上自衛隊朝霞駐屯地」が37.5%と最も多く、次いで「朝志ヶ丘、北原、田島、西原、浜崎、宮戸」が32.5%、「大字台、大字根岸、岡、仲町、根岸台」が17.5%、「泉水、西弁財、東弁財、三原」が10.0%となっています。

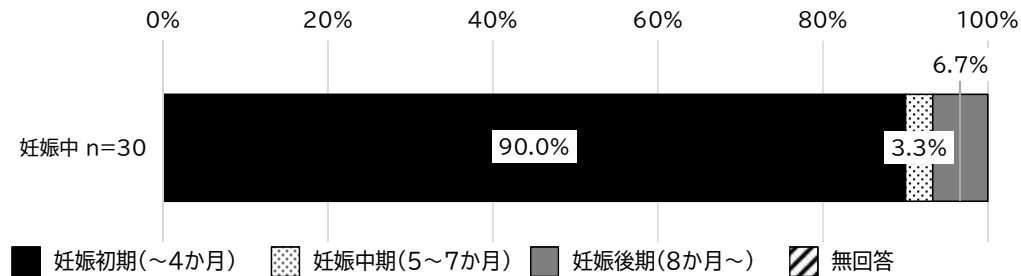


(3) 妊娠経過期間

<妊娠中:問3>

妊娠経過についてお答えください。(単数回答)

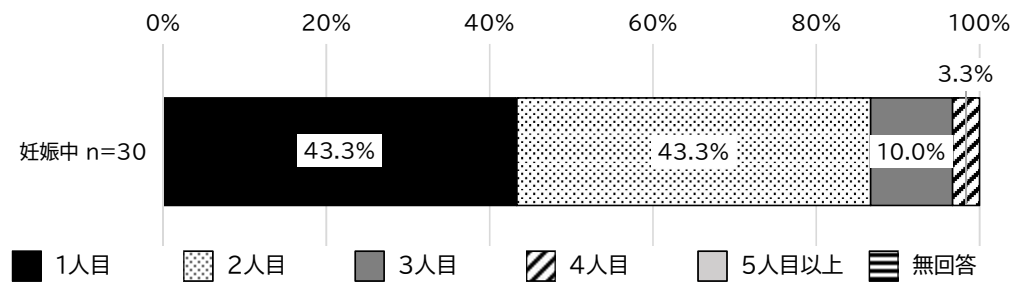
妊娠中の方は「妊娠初期(～4か月)」が90.0%と最も多く、次いで「妊娠後期(8か月～)」が6.7%、「妊娠中期(5～7か月)」が3.3%となっています。



<妊娠中:問4>

現在妊娠されているのは何人目のお子様ですか。(単数回答)

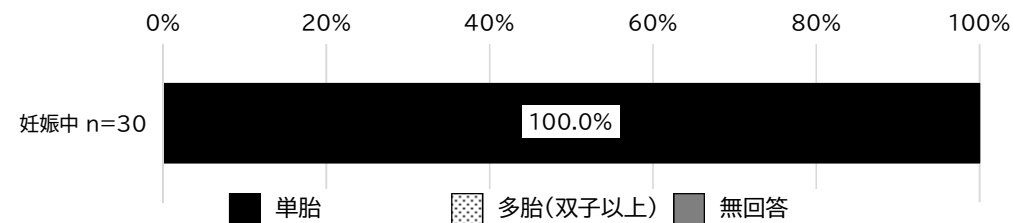
妊娠中の方は「1人目」と「2人目」がともに43.3%と最も多く、「3人目」が10%、「4人目」が3.3%となっています。



<妊娠中:問4-1>

単胎ですか多胎ですか。(単数回答)

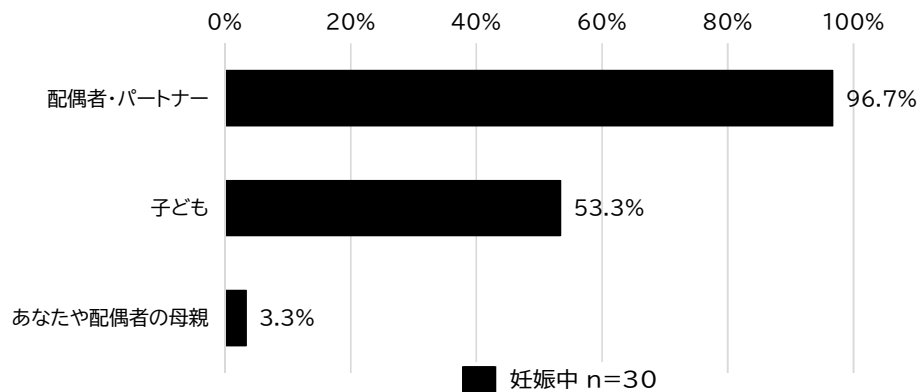
妊娠中の方は「単胎」が100.0%となっています。



<妊娠中:問5>

現在、あなたといっしょに暮らしているご家族は、どなたですか。(複数回答)

妊娠中の方は「配偶者・パートナー」が96.7%と最も多く、次いで「子ども」が53.3%、「あなたや配偶者の母親」が3.3%となっています。

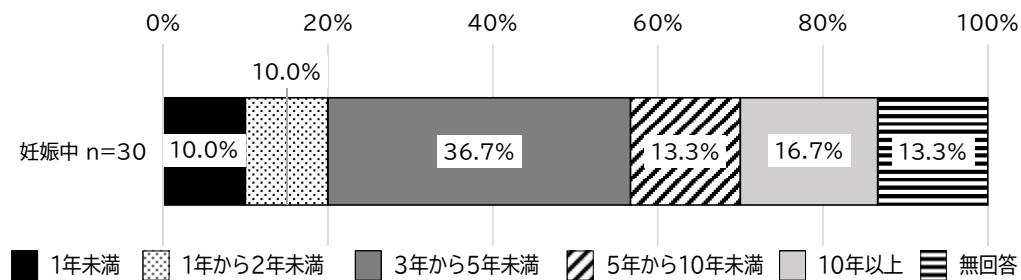


※「あなたや配偶者の父親」「あなたや配偶者の兄弟姉妹」「あなたや配偶者の祖父母」「その他」「いない」と回答した方は無かったため、図は省略している。

<妊娠中:問6>

あなたが朝霞市に住み始めて、何年になりますか。(単数回答)

妊娠中の方は「3年から5年未満」が36.7%と最も多く、次いで「10年以上」が16.7%、「5年から10年未満」が13.3%、「1年未満」が10.0%となっています。

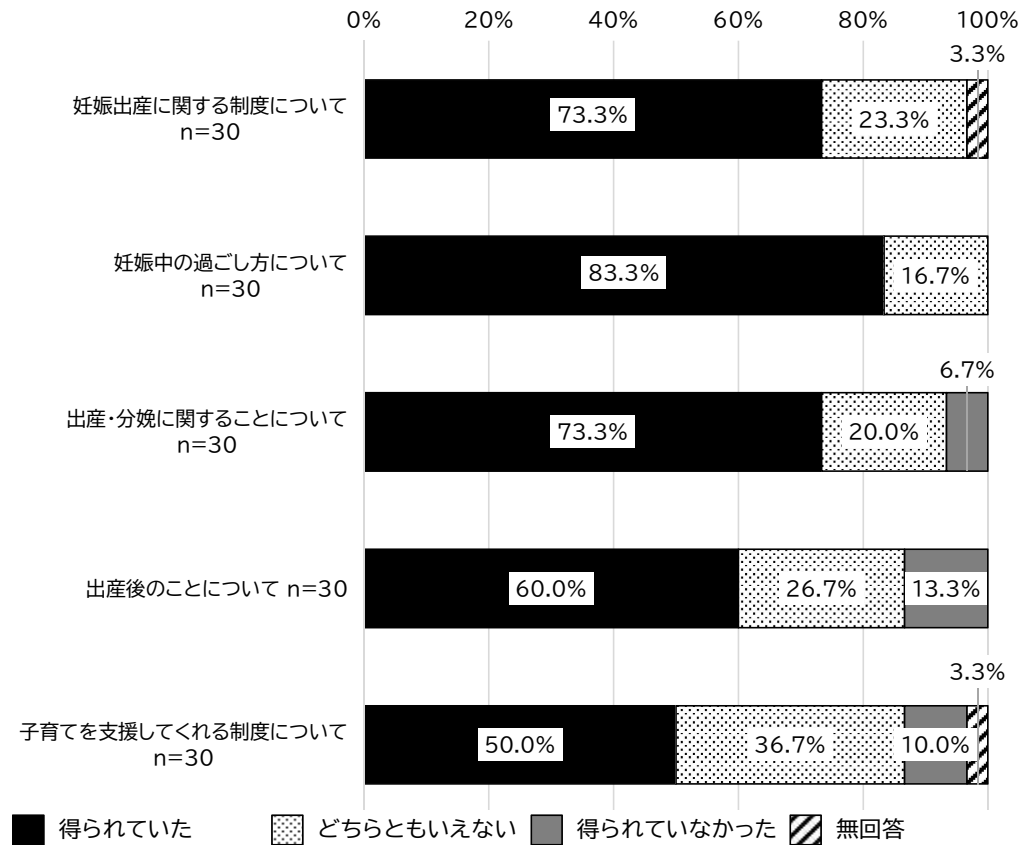


<妊娠中:問7、出産後:問2>

妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか(単数回答)

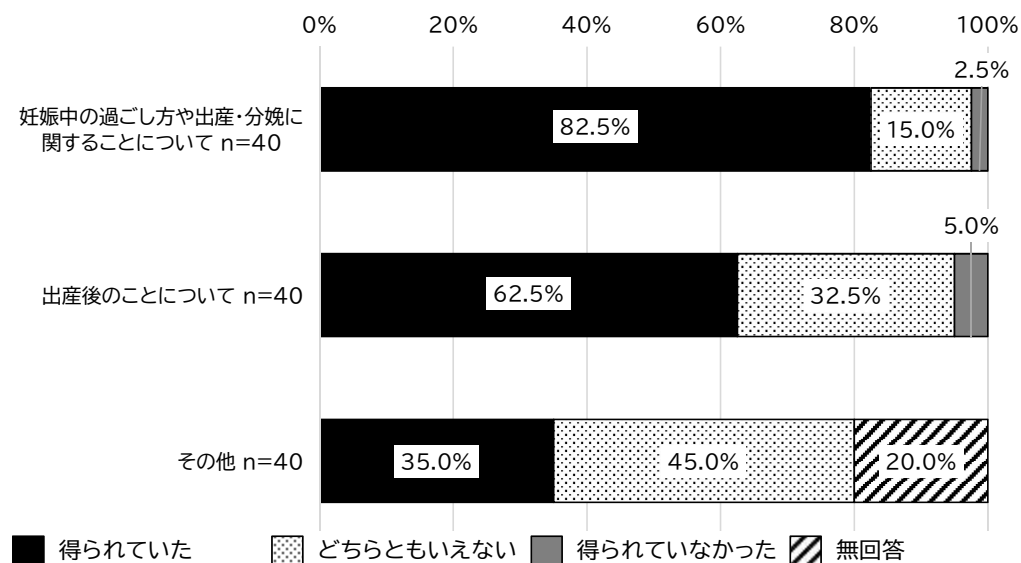
◆出産前

出産前の方は「妊娠中の過ごし方について」情報を得られていた場合が83.3%と最も多く、次いで「妊娠・出産に関する制度について」と「出産・分娩に関することについて」が、それぞれ73.3%となっています。



◆出産後

出産後の方は「妊娠中の過ごし方や出産・分娩に関することについて」情報を得られていた場合が82.5%と最も多く、次いで「出産後のことについて」が62.5%、「その他」が35.0%となっています。



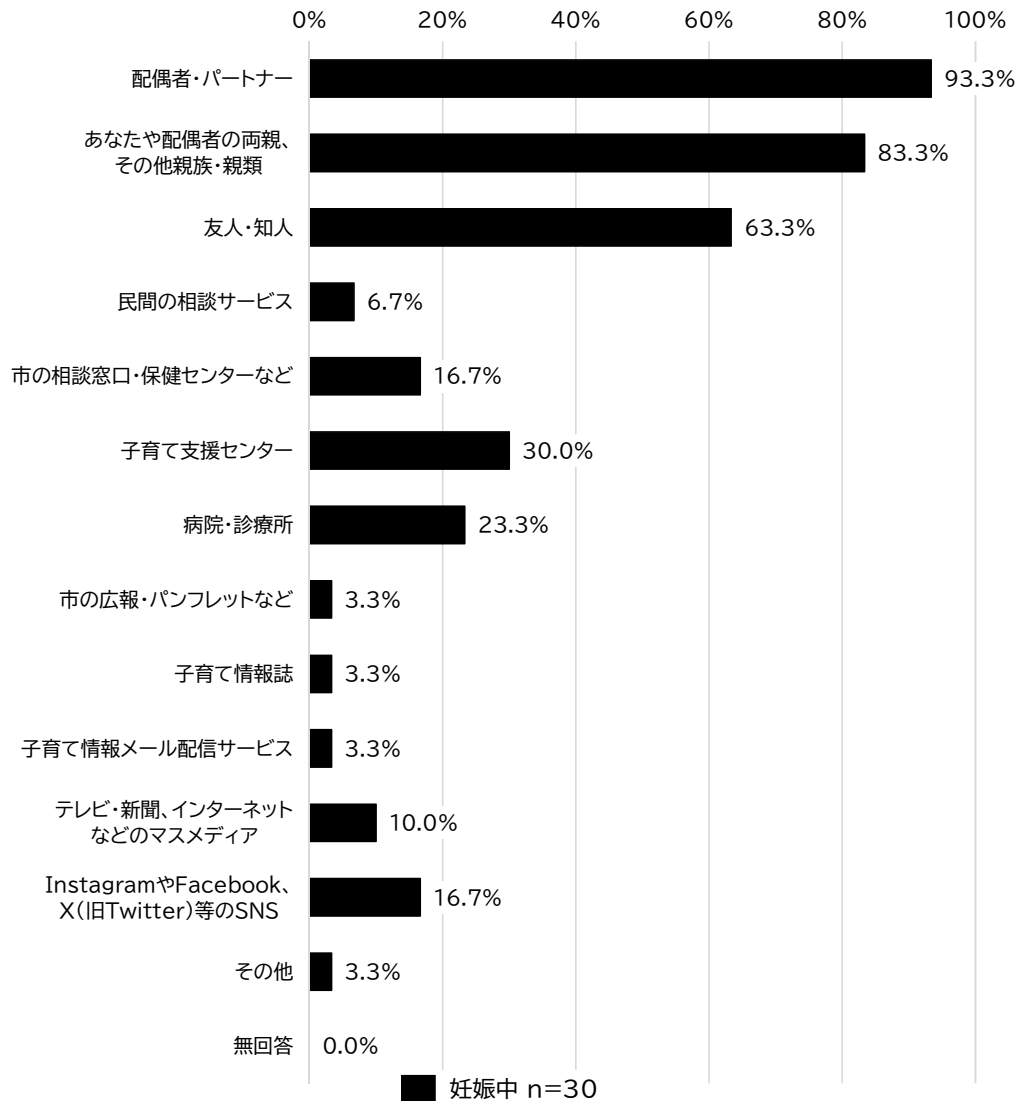
<妊娠中:問8>

出産や子育て・教育に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。また、情報は何かから得ていますか(複数回答)

①相談先 ②情報源

①相談先

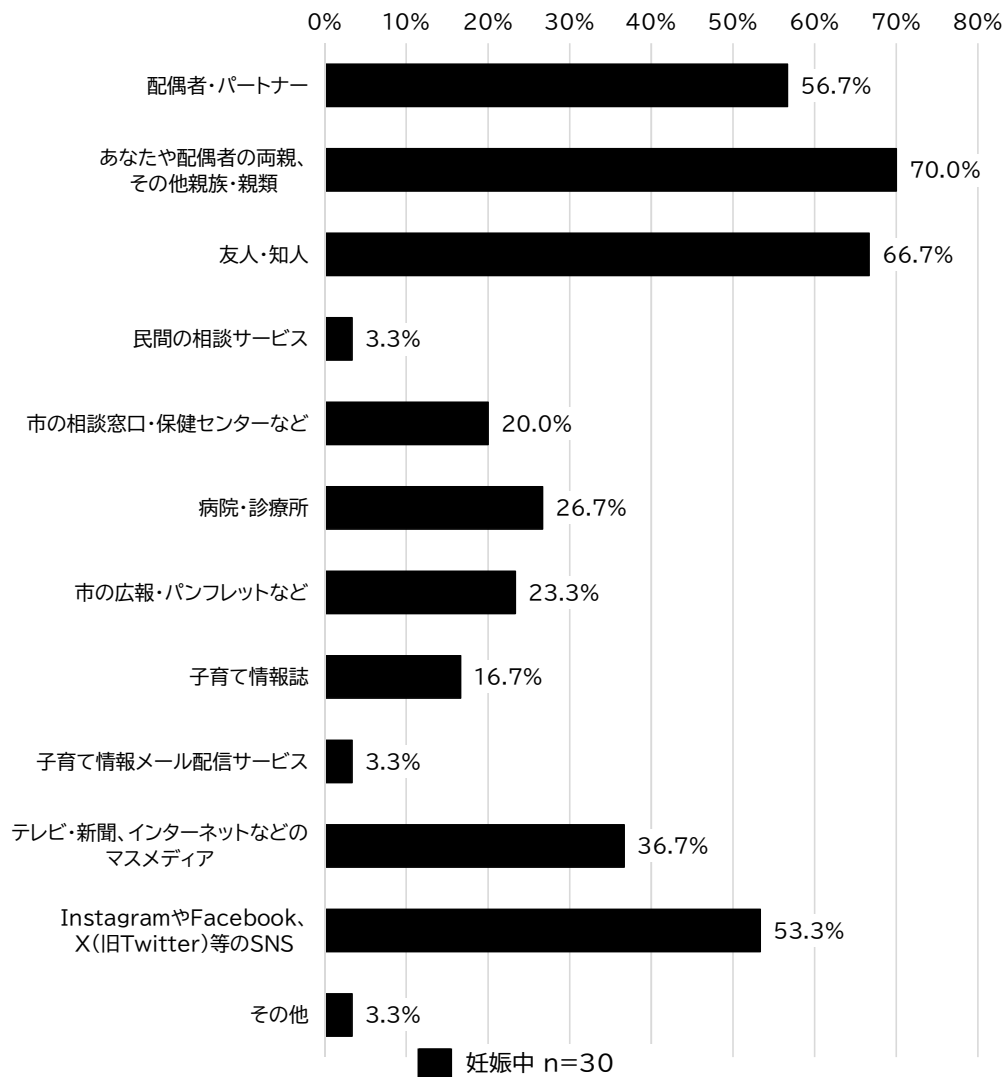
妊娠中の方は「配偶者・パートナー」が93.3%と最も多く、次いで「あなたや配偶者の両親、その他親族・親類」が83.3%、「友人・知人」が63.3%、「子育て支援センター」が30.0%、「病院・診療所」が23.3%となっています。



※「民生委員・児童委員」「そのような人(先)はない」と回答した方がいなかったため、図は省略している

②情報源

妊娠中の方は「あなたや配偶者の両親、その他親族・親類」が70.0%と最も多く、次いで「友人・知人」が66.7%、「配偶者・パートナー」が56.7%、「InstagramやFacebook、X(旧Twitter)等のSNS」が53.3%、「テレビ・新聞、インターネットなどのマスメディア」が36.7%となっています。

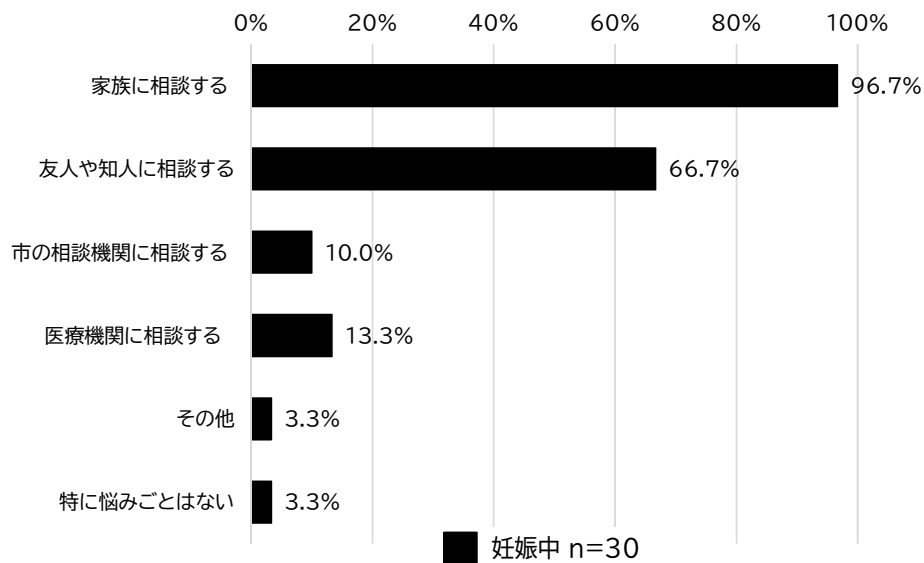


※「民生委員・児童委員」「そのような人(先)はない」と回答の方がいなかったため、図は省略している

<妊娠中:問9>

妊娠期や出産・子育てについて悩んだとき、どのように対応していますか。(複数回答)

妊娠中の方は「家族に相談する」が96.7%と最も多く、次いで「友人や知人に相談する」が66.7%、「医療機関に相談する」が13.3%、「市の相談機関に相談する」が10.0%、「その他」が3.3%となっています。



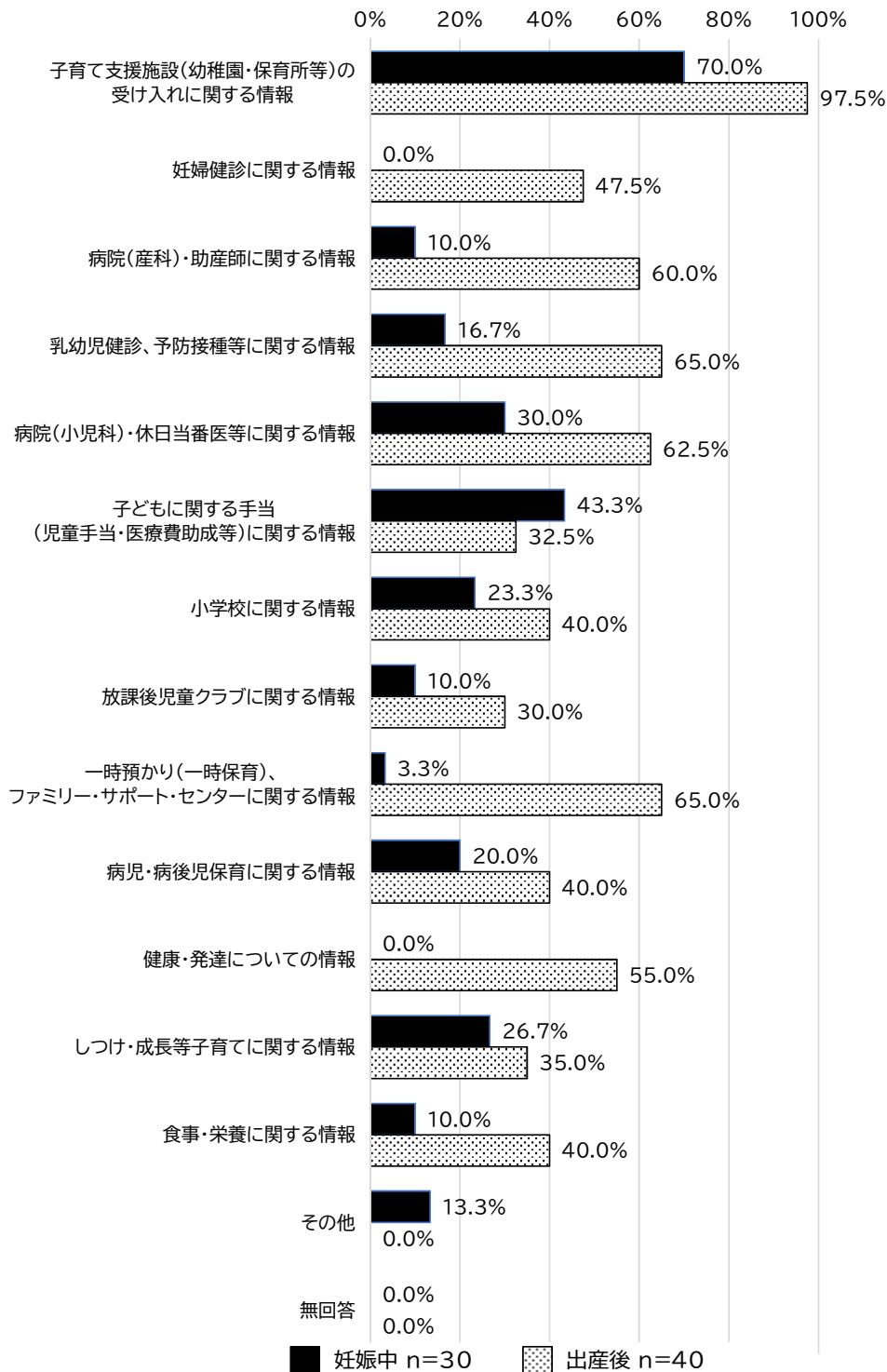
※「上の子どもの通う施設の職員に相談する」、「相談する相手がいない」、「どこに相談したらよいかわからない」、「無回答」と回答の方がいなかったため、図は省略している

<妊娠中:問10、出産後:問3>

あなたは、どのような妊娠・出産・子育てに関する情報を知りたいと考えていますか。(複数回答、妊娠中は3つまで)

妊娠中の方は「子育て支援施設(幼稚園・保育所等)の受け入れに関する情報」が70%と最も多く、次いで「子どもに関する手当(児童手当・医療費助成等)に関する情報」が43.3%、「病院(小児科)・休日当番医等に関する情報」が30%、「しつけ・成長等子育てに関する情報」が26.7%、「小学校に関する情報」が23.3%となっています。

出産後の方は「子育て支援施設(幼稚園・保育所等)の受け入れに関する情報」が97.5%と最も多く、次いで「乳幼児健診、予防接種等に関する情報」と「一時預かり(一時保育)、ファミリー・サポート・センターに関する情報」がともに65%、「病院(小児科)・休日当番医等に関する情報」が62.5%、「病院(産科)・助産師に関する情報」が60.0%となっています。

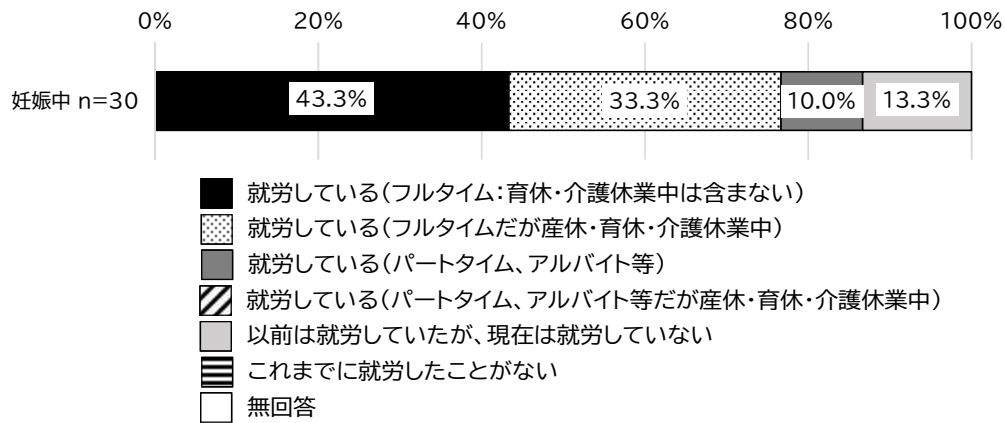


<妊娠中:問11>

あなたの現在の就労状況(自営業、家族従業者を含む)をお答えください。(単数回答)

※1日8時間程度・週5日程度の勤務日数・時間の場合は「フルタイム」、それ以外の場合は「パートタイム」としててください。

妊娠中の方は「就労している(フルタイム:育休・介護休業中は含まない)」が43.3%と最も多く、次いで「就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)」が33.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.3%、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が10.0%となっています。

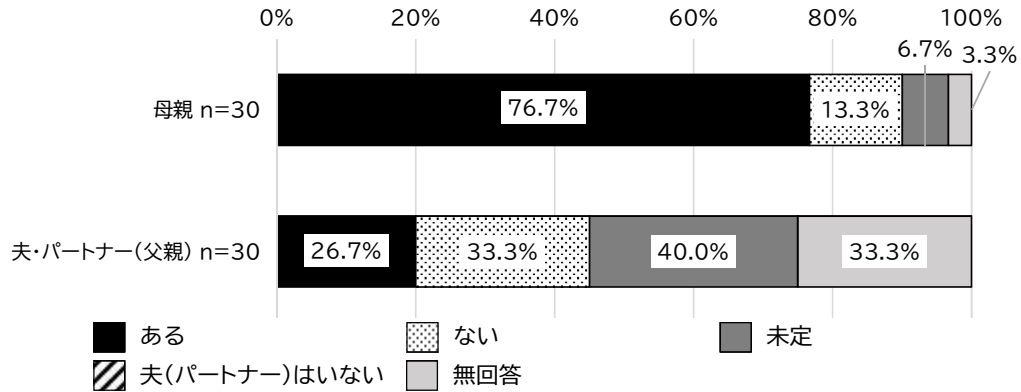


<妊娠中:問12>

今回の出産後に、あなたや夫・パートナーは育児休業を取得する予定はありますか。あてはまるもの1つずつに○をつけ、「ある」場合は予定している期間もお答えください。

母親は「ある」が76.7%と最も多く、次いで「ない」が13.3%、「未定」が6.7%となっています。

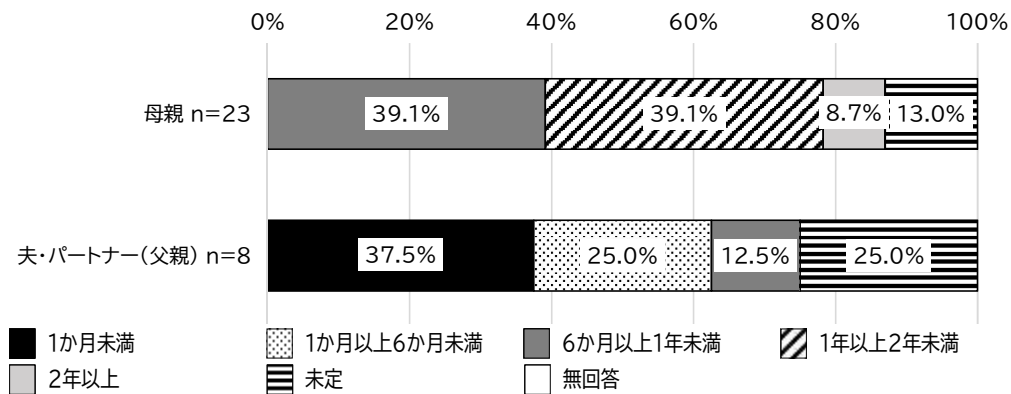
夫・パートナー(父親)は「未定」が40.0%と最も多く、次いで「ない」が33.3%、「ある」が26.7%となっています。



予定期間

母親は「6か月以上1年未満」と「1年以上2年未満」がともに39.1%と最も多く、次いで「未定」が13.0%、「2年以上」が8.7%となっています。

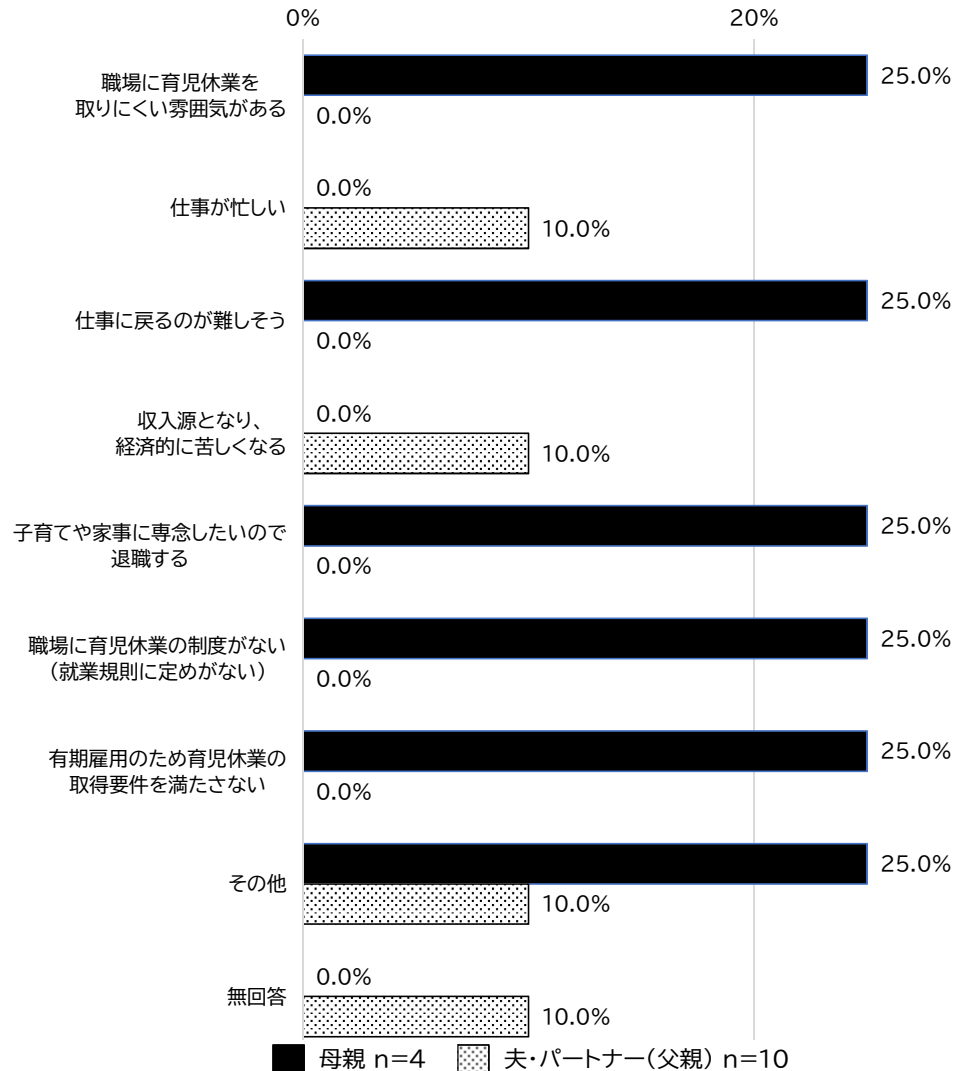
夫・パートナー(父親)は「1か月未満」が37.5%と最も多く、次いで「1か月以上6か月未満」と「未定」がともに25.0%、「6か月以上1年未満」が12.5%となっています。



育児休業を取得する予定がない理由

母親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある」、「仕事に戻るのが難しそう」、「子育てや家事に専念したいので退職する」、「職場に育児休業の制度がない(就業規則に定めがない)」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさない」、「その他」がそれぞれ25.0%となっています。

夫・パートナー(父親)は「仕事が忙しい」、「収入源となり、経済的に苦しくなる」、「その他」がそれぞれ10.0%となっています。



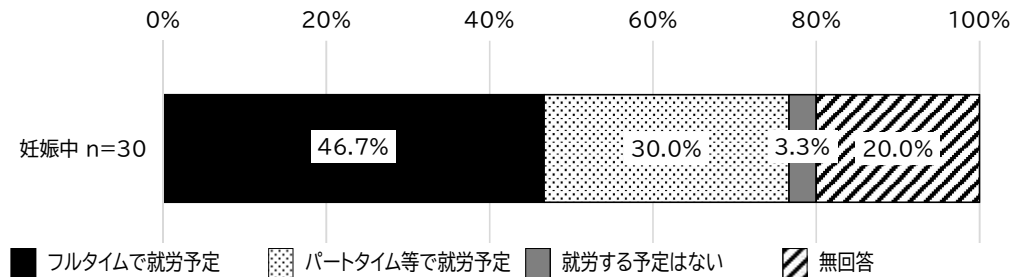
※「(産休後に)仕事に早く復帰したい」、「昇給・昇格などが遅れそう」、「保育所等に預けることができる」、「配偶者が育児休業制度を利用する」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がない」、「育児休業を取得できるか知らない、わからない」、「育児休業を取得できるか知らない、わからないので退職する」と回答した方がいなかったため、図は省略している

<妊娠中:問13>

今回の出産後に、あなたは就労する予定・希望はありますか。また、予定・希望がある場合は働き始めるお子様の年齢についてもご記入ください。(単数回答)

出産後の就労予定・希望

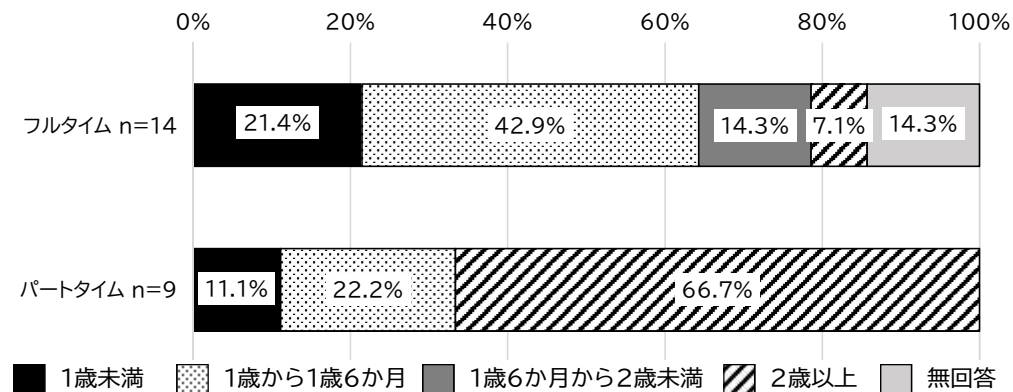
妊娠中の方は「フルタイムで就労予定」が46.7%と最も多く、次いで「パートタイム等で就労予定」が30.0%、「就労する予定はない」が3.3%となっています。



働き始めるお子様の年齢

「フルタイムで就労予定」と回答した方は「1歳から1歳6か月」が42.9%と最も多く、次いで「1歳未満」が21.4%、「1歳6か月から2歳未満」が14.3%、「2歳以上」が7.1%となっています。

「パートタイム等で就労予定」と回答した方は「2歳以上」が66.7%と最も多く、次いで「1歳から1歳6か月」が22.2%、「1歳未満」が11.1%となっています。



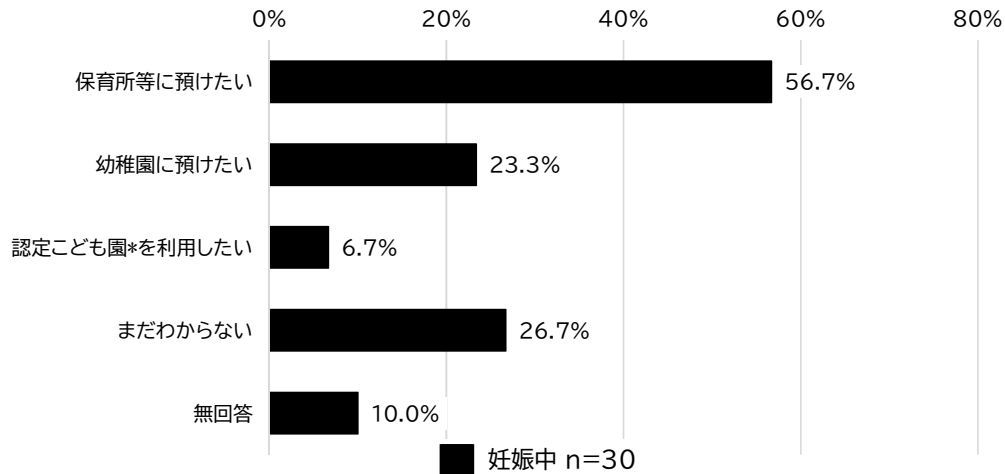
<妊娠中:問14>

現在妊娠しているお子様について、生後、幼稚園や保育所等に預けたいご意向はありますか。(複数回答)
また、「保育所等に預けたい」、「幼稚園に預けたい」、「認定こども園*を利用したい」を選んだ場合は預けたい
子どもの年齢についてもご記入ください。

*認定こども園…保育所と幼稚園の機能を併せ持った施設のこと。

出産後の就労予定・希望

母親は「保育所等に預けたい」が56.7%と最も多く、次いで「まだわからない」が26.7%、「幼稚園に預けたい」が23.3%、「認定こども園*を利用したい」が6.7%となっています。



※「小学校就学まで施設に預ける予定はない」、「その他」は回答者がいなかったため、図を省略している

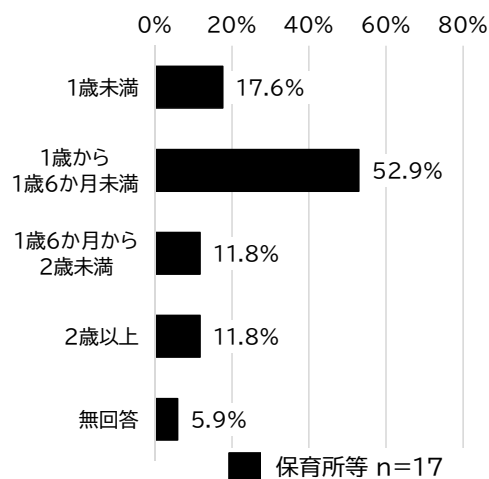
保育所等に預けたい年齢

<保育所等>

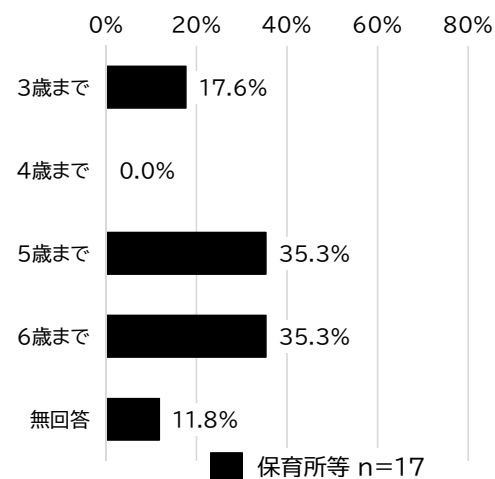
預け始めたい年齢は「1歳から1歳6か月未満」が52.9%と最も多く、次いで「1歳未満」が17.6%、「1歳6か月から2歳未満」と「2歳以上」がともに11.8%となっています。

預け終わりの年齢は「5歳まで」と「6歳まで」が35.3%と最も多く、次いで「3歳まで」が17.6%となっています。

◆預け始めたい年齢



◆預け終わりの年齢

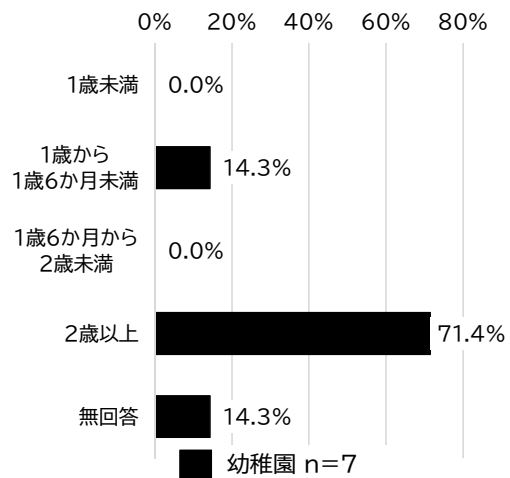


<幼稚園>

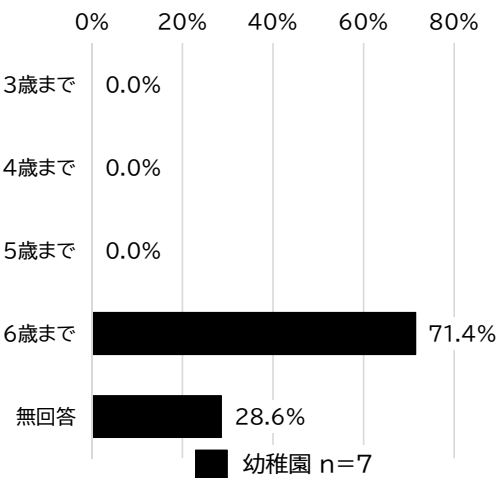
預け始めたい年齢は「2歳以上」が71.4%と最も多く、次いで「1歳から1歳6か月未満」が14.3%となっています。

預け終わりの年齢は「2歳以上」が71.4%と最も多くなっています。

◆預け始めたい年齢



◆預け終わりの年齢

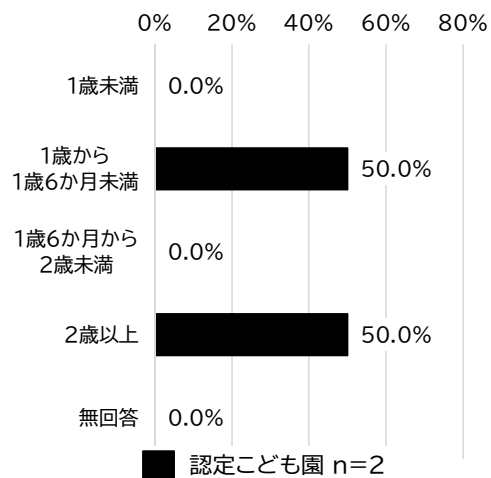


<認定こども園>

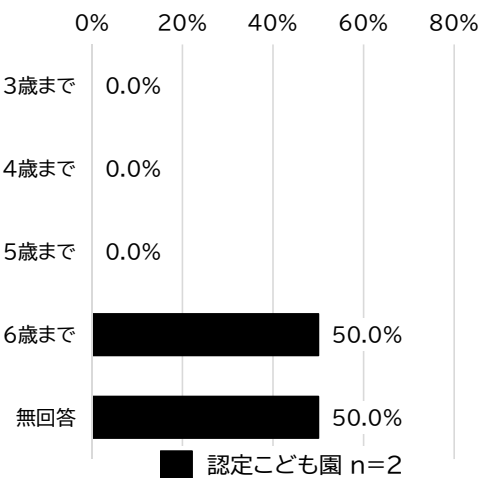
預け始めたい年齢は「1歳から1歳6か月未満」と「2歳以上」がともに50.0%となっています。

預け終わりの年齢は「6歳まで」が50.0%となっています。

◆預け始めたい年齢



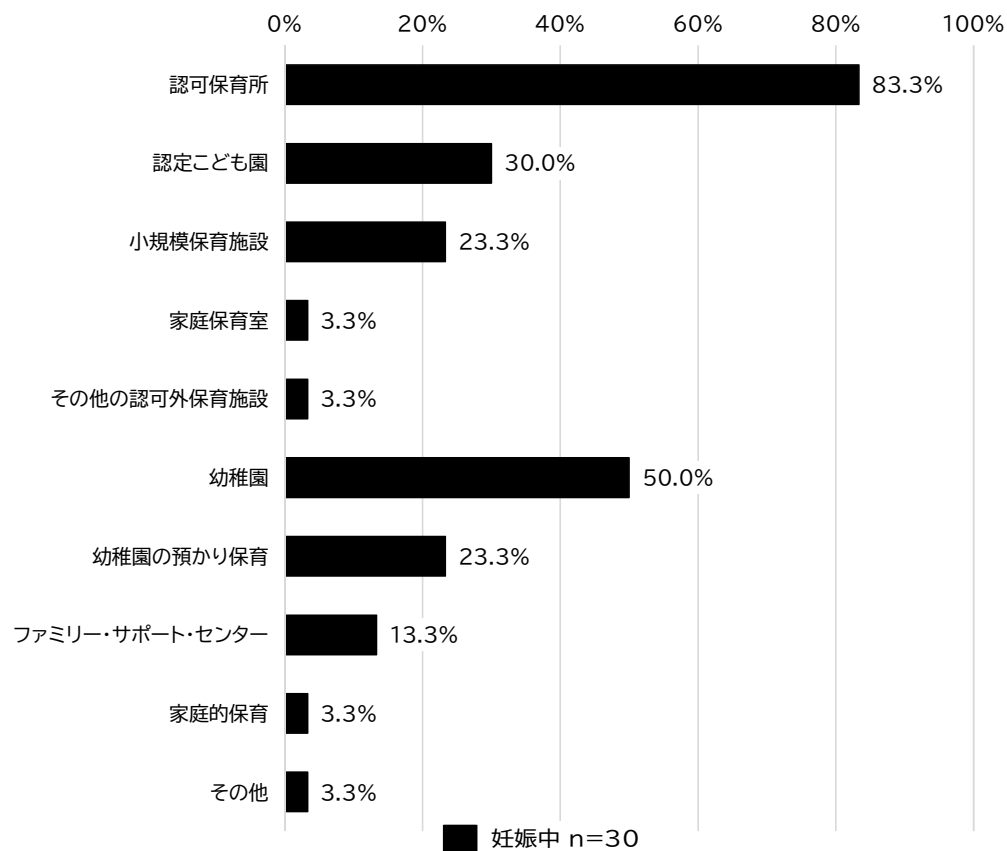
◆預け終わりの年齢



<妊娠中:問15>

お子さんに日常的に利用させたいと考える幼稚園や保育所などの施設等(以下、幼稚園保育所等)をお答えください。(複数回答)

妊娠中保護者は「認可保育所」が83.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が50.0%、「認定こども園」が30.0%、「小規模保育施設」と「幼稚園の預かり保育」がともに23.3%となっています。



※「事業所内保育施設」、「居宅訪問保育」は回答者がいなかったため、図を省略している

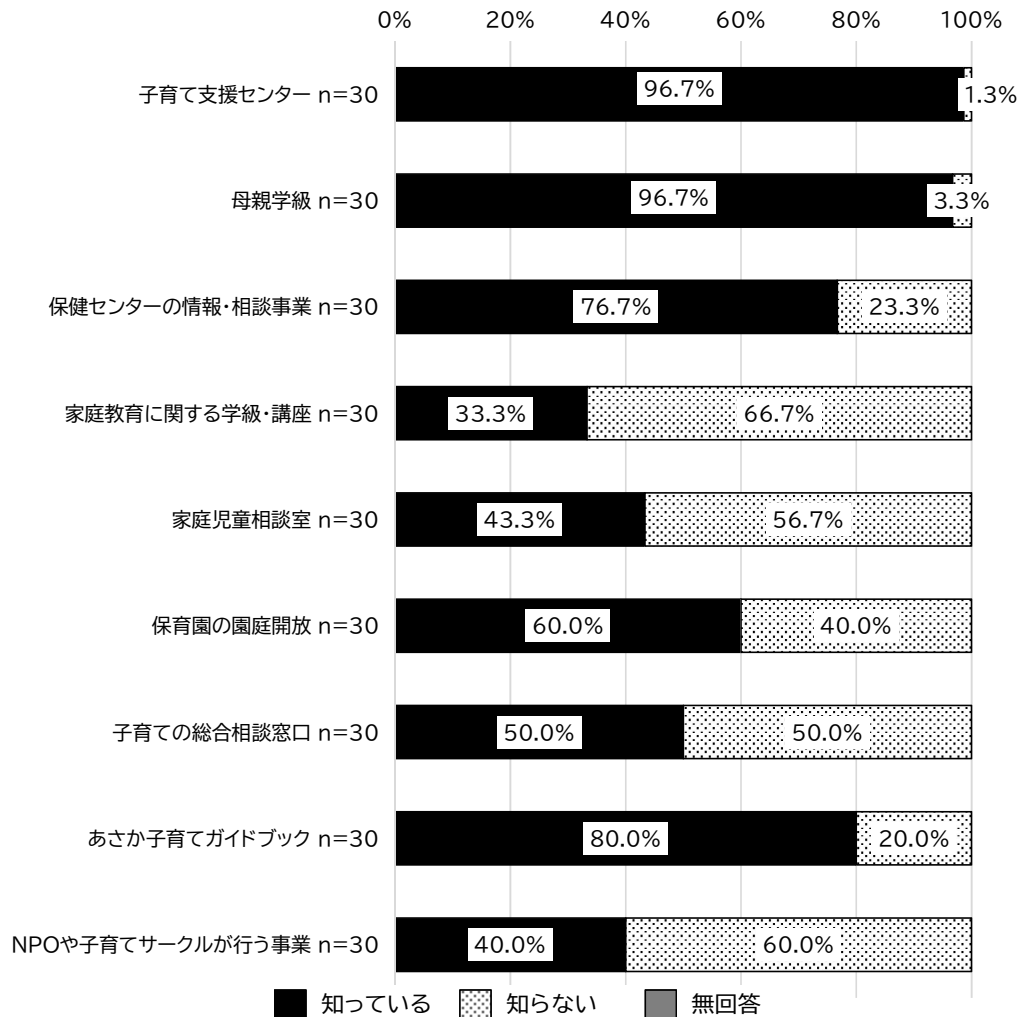
<妊娠中:問16、出産後:問5>

(妊娠中)お子さんについて、地域の子育て支援事業を利用したいと思いますか。
 (出産後)朝霞市には子育てや家庭の悩みや困りごと、幼稚園や保育園の利用などについて相談できる窓口がありますが、ご存じですか。
 各事業ごとに、A・B・Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。(単数回答)

◆妊娠中

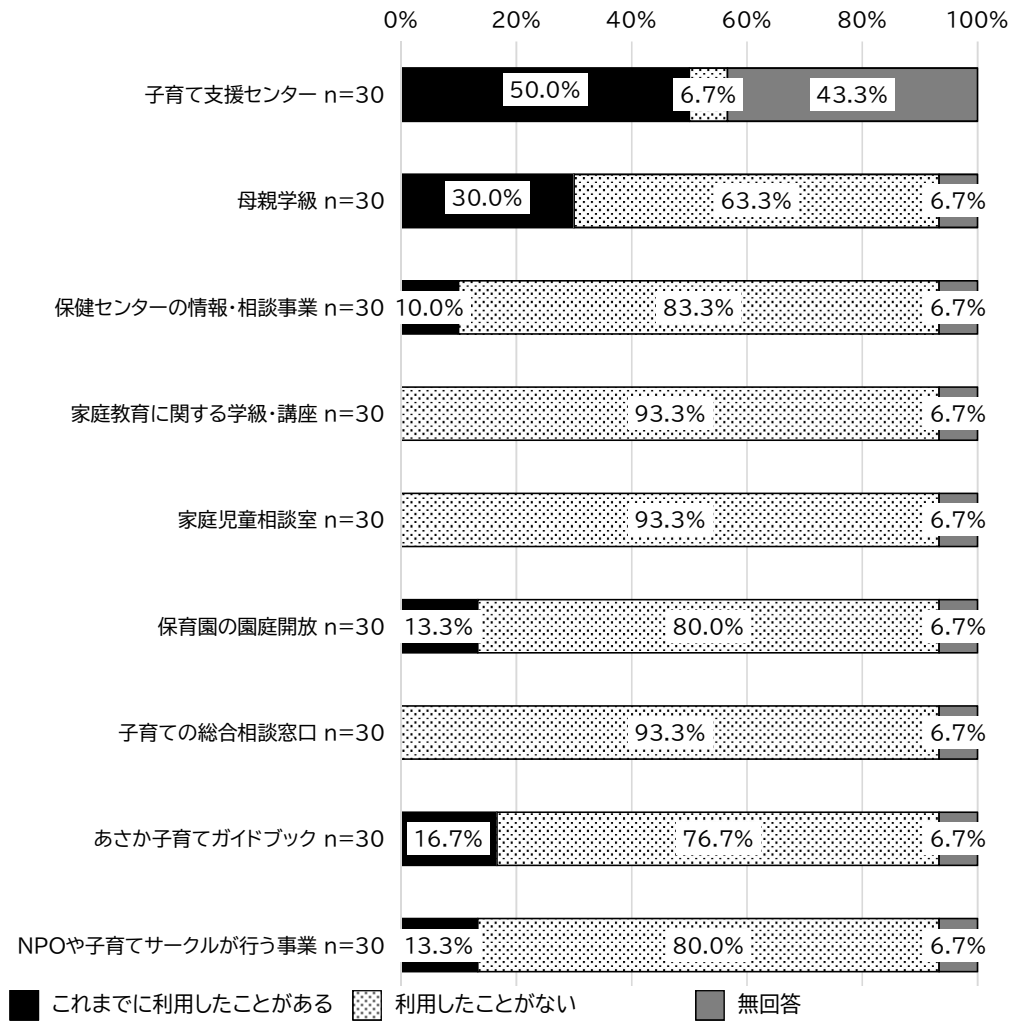
子育て支援事業の認知度

各事業の認知度は、「子育て支援センター」と「母親学級」がともに96.7%と最も多く、次いで「あさか子育てガイドブック」が80.0%、「保健センターの情報・相談事業」が76.7%となっています。



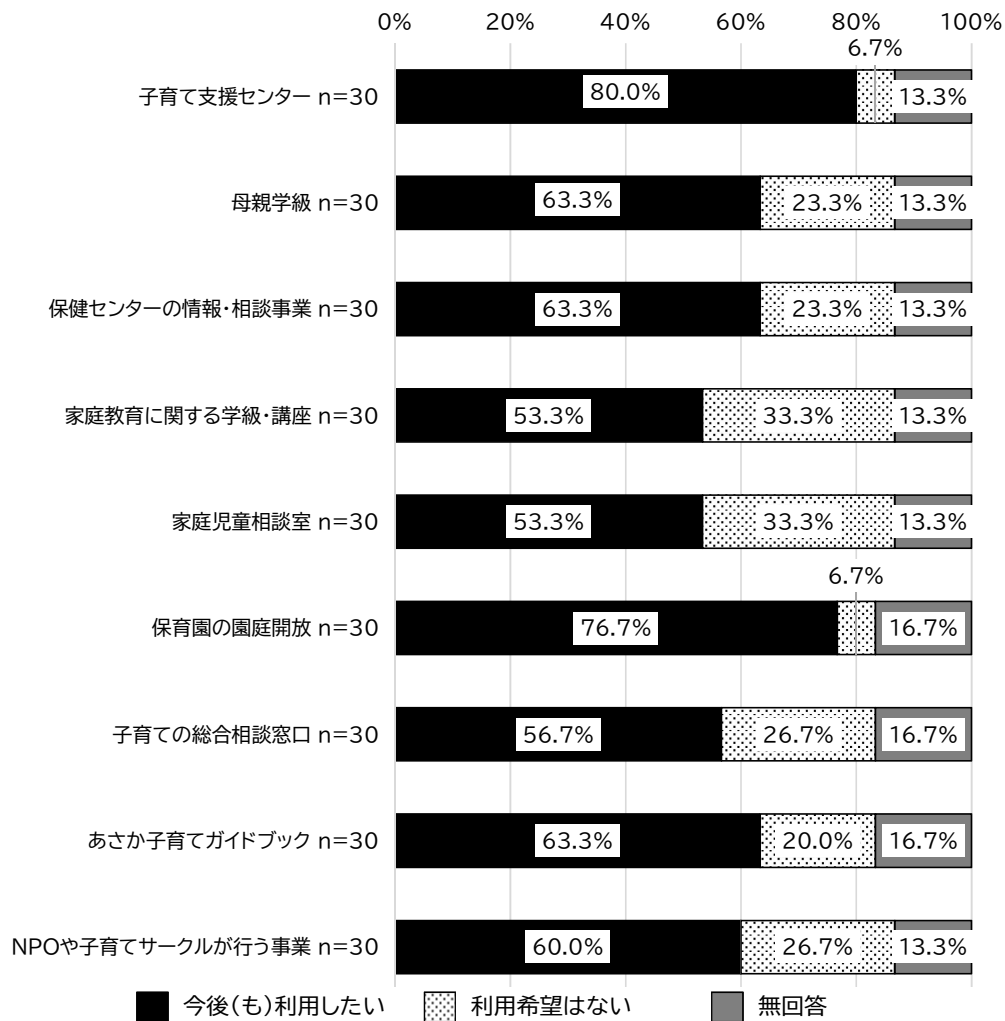
子育て支援事業の利用経験

各事業の利用経験は、「子育て支援センター」が50.0%と最も多く、次いで「母親学級」が30.0%、「あさか子育てガイドブック」が16.7%となっています。



子育て支援事業の今後の利用希望

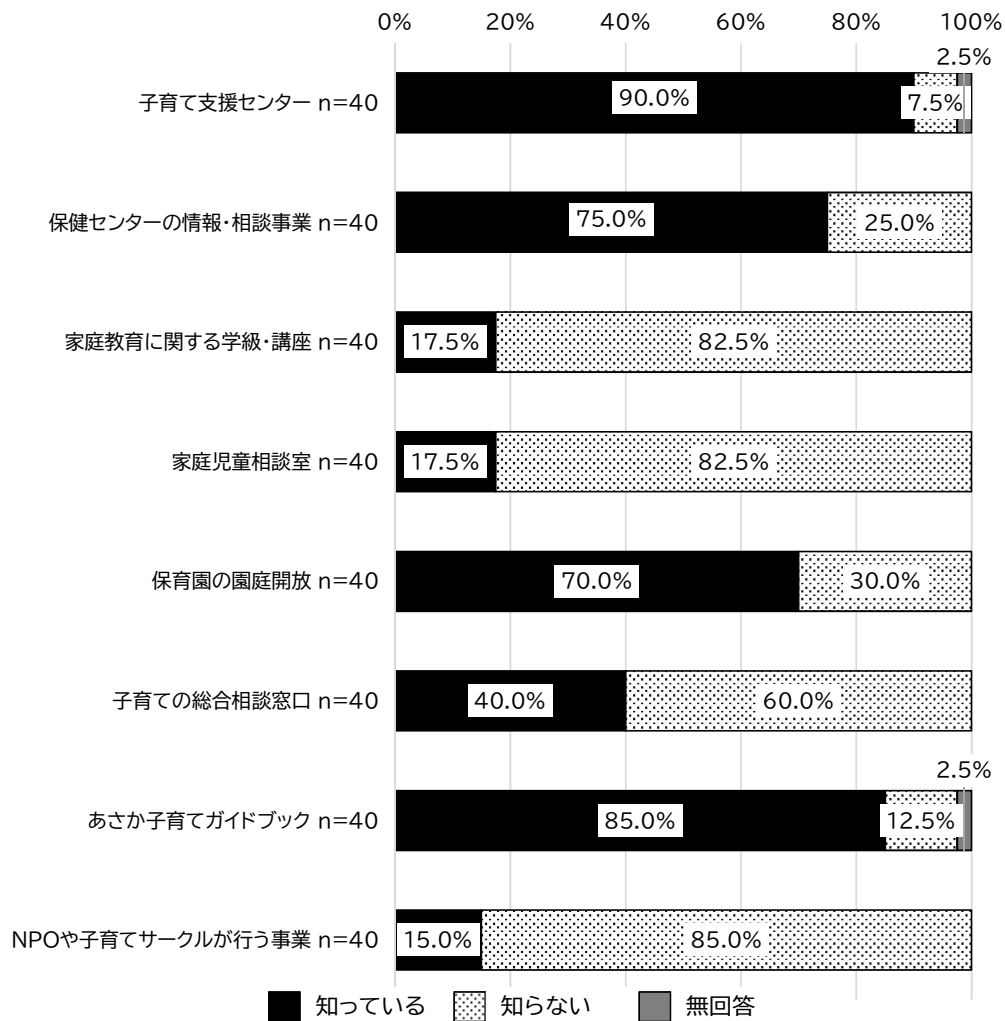
子育て支援事業の今後の利用希望は、「子育て支援センター」が80.0%と最も多く、次いで「保育園の園庭開放」が76.7%、「母親学級」、「保健センターの情報・相談事業」と「あさか子育てガイドブック」がともに63.3%となっています。



◆出産後

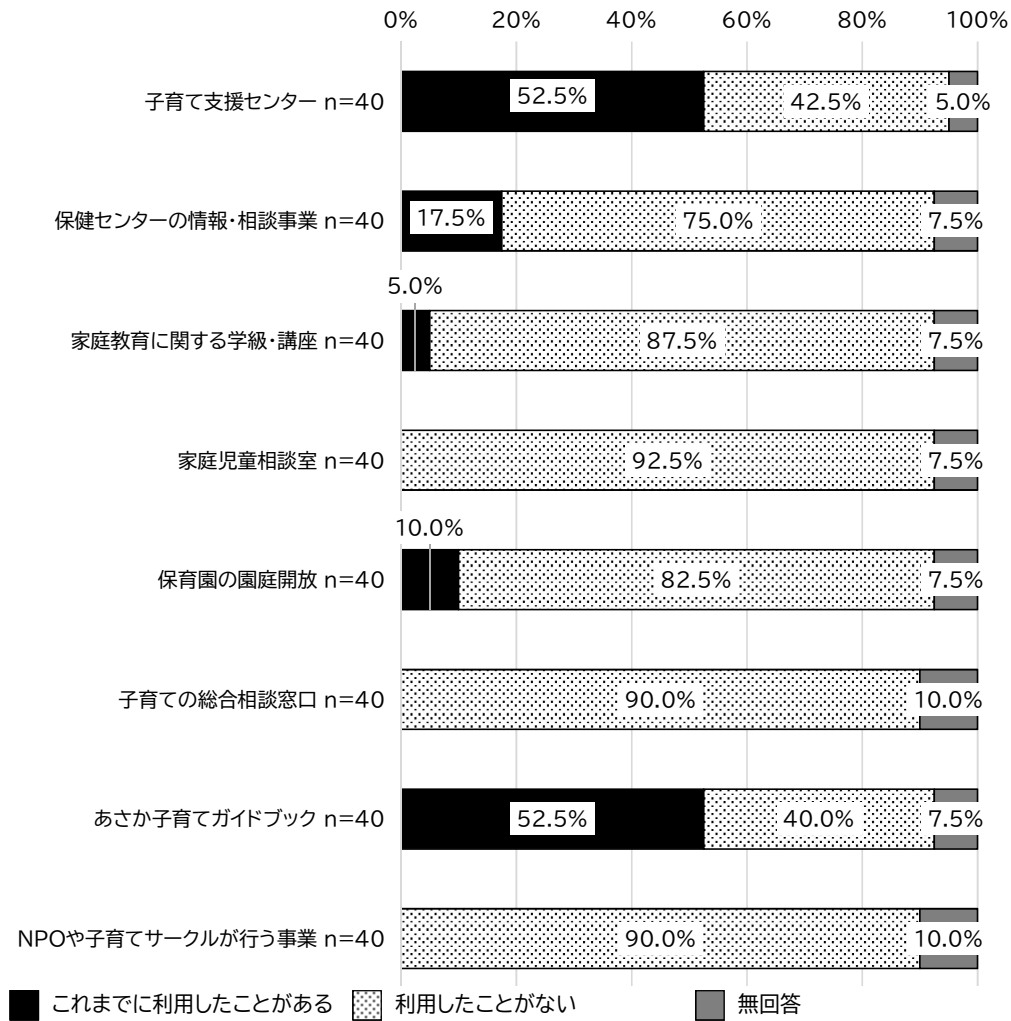
子育て支援事業の認知度

各事業の認知度は、「子育て支援センター」が90.0%と最も多く、次いで「あさか子育てガイドブック」が80.0%、「保健センターの情報・相談事業」が75.0%、「保育園の園庭開放」が70.0%となっています。



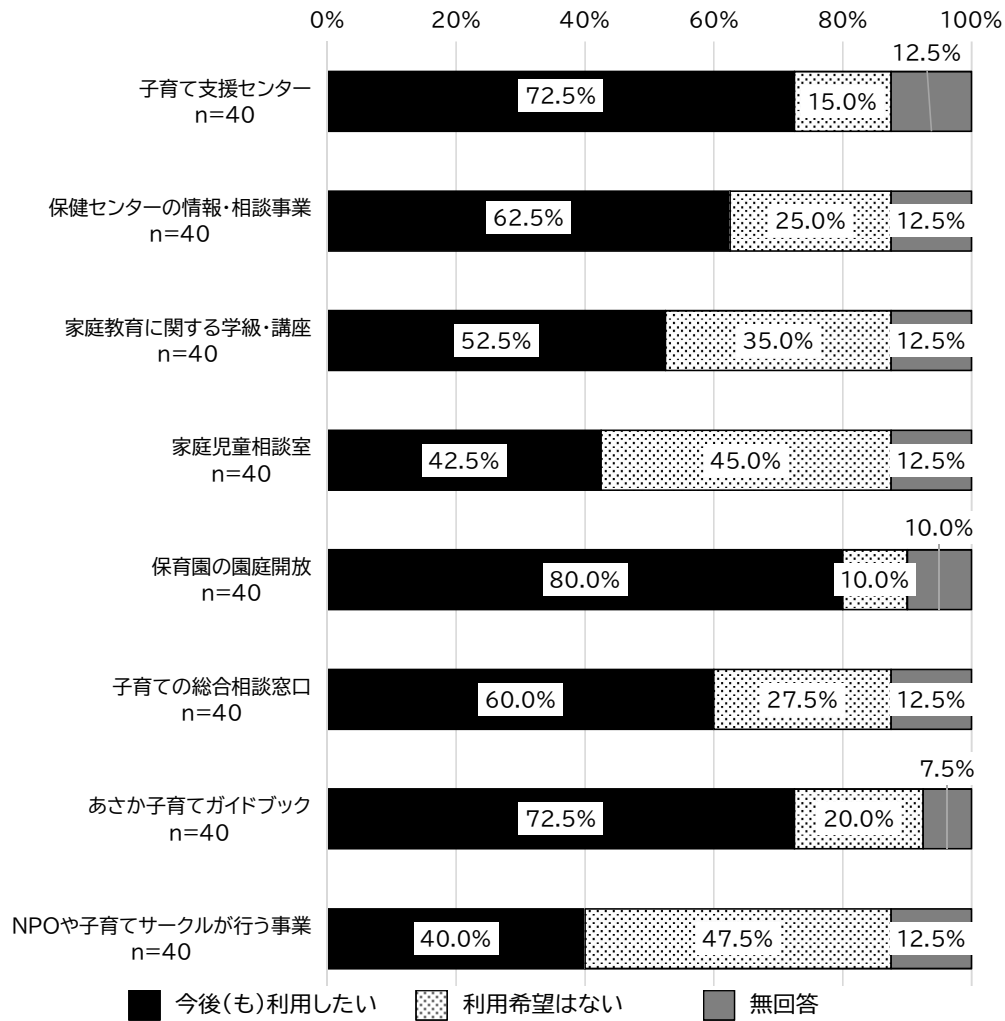
子育て支援事業の利用経験

各事業の利用経験は、「子育て支援センター」と「あさか子育てガイドブック」がおもに52.5%と最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が17.5%、「保育園の園庭開放」が10.0%となっています。



子育て支援事業の今後の利用希望

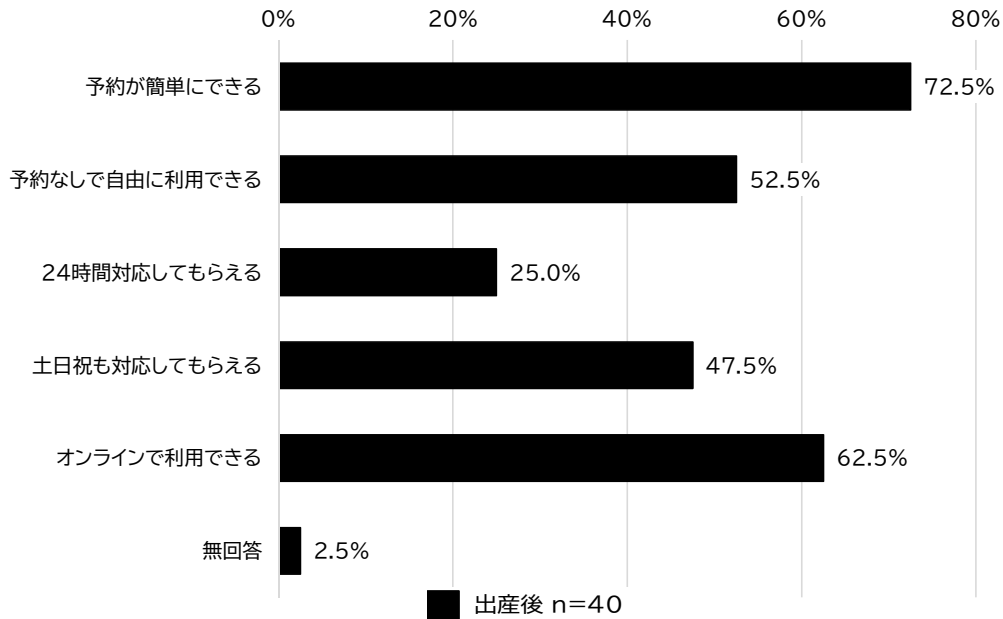
各事業の今後の利用希望は、「保育園の園庭開放」が80.0%と最も多く、次いで「子育て支援センター」と「あさか子育てガイドブック」がともに72.5%、「保健センターの情報・相談事業」が62.5%となっています。



<出産後:問6>

問5で挙げたようなサービスが利用しやすくなるためにはどのようなことが必要だと思いますか(複数回答)

出産後の方は「予約が簡単にできる」が72.5%と最も多く、次いで「オンラインで利用できる」が62.5%、「予約なしで自由に利用できる」が52.5%、「土日祝も対応してもらえる」が47.5%、「24時間対応してもらえる」が25.0%となっています。

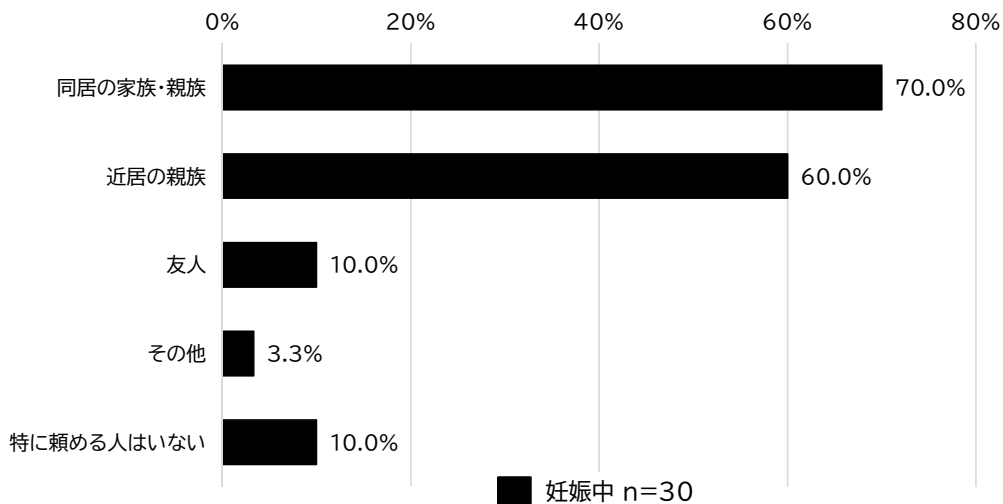


※「特に利用したいと思わない」、「その他」は回答者がいなかったため、図は省略している

<妊娠中:問17>

あなたには、お子様の世話を頼めそうな人が身近にいますか。(複数回答)

妊娠中保護者は「同居の家族・親族」が70.0%と最も多く、次いで「近居の親族」が60.0%、「友人」と「特に頼める人はいない」がともに10.0%、「その他」が3.3%となっています。



※「近所の人」と回答者がいなかったため、図は省略している

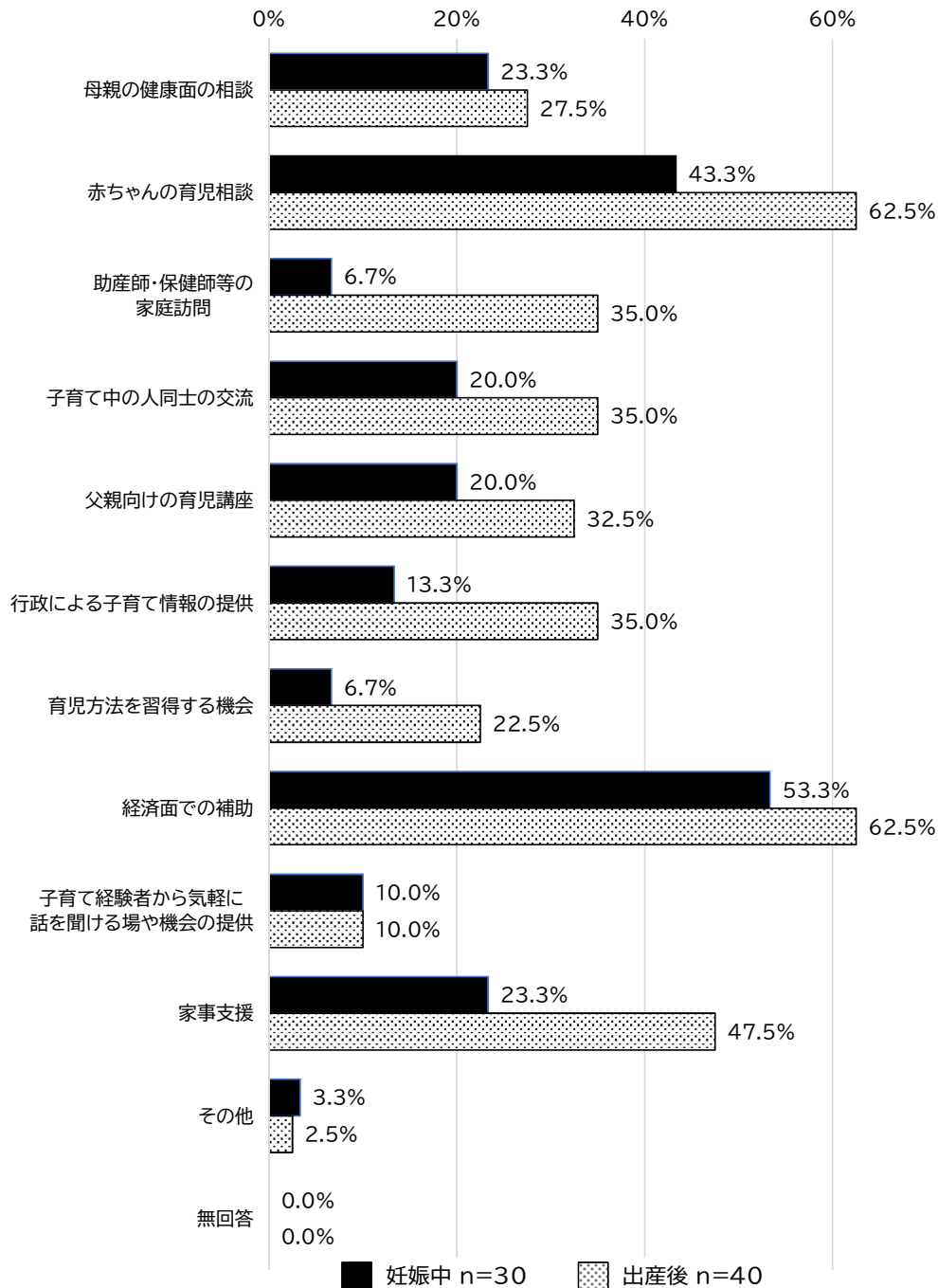
<妊娠中:問18、出産後:問4>

(妊娠中)妊娠中や出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。(最も当てはまる番号2つに○)

(出産後)妊娠・出産に関するサポートとして、必要なことはありますか。(複数回答)

妊娠中保護者は「経済面での補助」が53.3%と最も多く、次いで「赤ちゃんの育児相談」が43.3%、「母親の健康面の相談」と「家事支援」がともに23.3%、「子育て中の人同士の交流」が20.0%となっています。

出産後の方は「赤ちゃんの育児相談」と「経済面での補助」がともに62.5%と最も多く、次いで「家事支援」が47.5%、「助産師・保健師等の家庭訪問」と「子育て中の人同士の交流」、「行政による子育て情報の提供」がそれぞれ35.0%となっています。



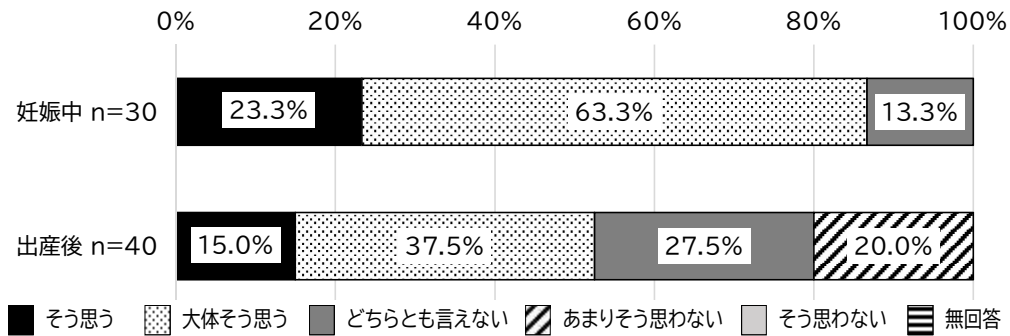
<妊娠中:問19、出産後:問7>

(妊娠中)朝霞市は安心して出産・子育てをするのに適したまちだと思いますか。(単数回答)

(出産後)朝霞市は子育てしやすいまちだと思いますか。(単数回答)

妊娠中の方は「大体そう思う」が63.3%と最も多く、次いで「そう思う」が23.3%、「どちらとも言えない」が13.3%となっています。

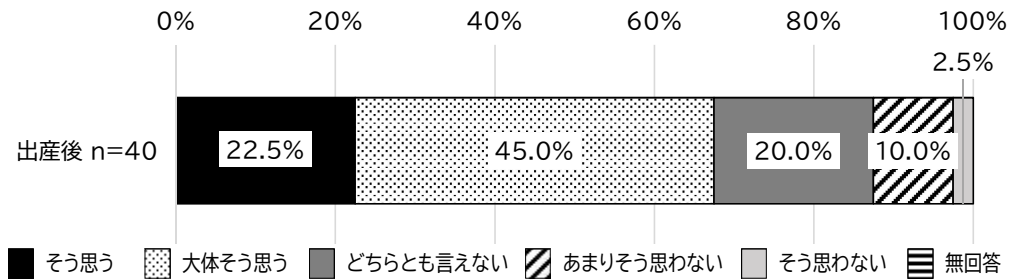
出産後の方は「大体そう思う」が37.5%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が27.5%、「あまりそう思わない」が20.0%、「そう思う」が15.0%となっています。



<出産後:問8>

ずっと朝霞市内で子育てをしていきたいと思いませんか。(単数回答)

出産後の方は「大体そう思う」が45.0%と最も多く、次いで「そう思う」が22.5%、「どちらとも言えない」が20.0%、「あまりそう思わない」が10.0%となっています。



<出産後:問9>

朝霞市の特に良いところや、もっと良くなるとよいところはどんなところですか。

朝霞市の良いところやもっと良くなるところについて、35件の貴重な意見をいただいた。1人で2つ以上の内容の記入はそれぞれ1件としてカウントしているため、件数は延べ件数となる。

◆特に良いところ

◇保育園・幼稚園・認定こども園 数が多い/幼稚園のレベルが高い	2件
◇公園・遊び場 公園が多い/子どもがよく遊んでいる/児童館が多い	14件
◇まちづくり 駅前が栄えている/治安が良い/地域の方に声をかけられる暖かい地域/公共交通機関が充実している/小児科が多い/買い物に徒歩圏内で行ける	5件
◇行政 対応が素晴らしい/4ヵ月検診やマイナンバーの取得がスムーズだった/子育て支援が手厚い/地域に子育て世帯が多い/学校などが近い	3件
◇その他 医療費助成がある/自然/イベントや祭りが多い	11件

<妊娠中:問20、出産後:問10>

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご記入ください。

子育ての環境や支援に関して、妊娠中の方から24件、出産後の方から50件の貴重な意見をいただいた。1人で2つ以上の内容の記入はそれぞれ1件としてカウントしているため、件数は延べ件数

◆妊娠中の方

◇保育園・認定こども園 不足している・増設/入園しやすくしてほしい	6件
◇遊び場・公園 公園が多い/自然が多い	3件
◇まちづくり 都心部へのアクセスが良い/子育て支援センターや児童館が多い/小学校の増設	3件
◇行政 支援や制度に関する内容が複雑/子育て支援が充実している/子育て支援をもっと充実させてほしい/子どもを授けたい人への支援の充実/出産育児応援金ありがたい/サービスの申請や申し込みの電子化/経済的支援が欲しい/産後ケア制度の充実	9件
◇その他 保健センターの方も優しい人が多い/子育て中の方対象のイベントが少ない(「第一子のみ」等)/孤独	3件

◆出産後

◇保育園・幼稚園 不足している・増設/質の向上/駐車場の完備/保育士増加の施策の検討	7件
◇交通・移動 道幅を広く/歩道の整備/朝霞台駅のホームドア・エレベーター整備/	10件
◇遊び場・公園等 遊具の数の増加・充実/砂場の安全性の確保/児童館が狭い	5件
◇まちづくり 小児科・耳鼻科等の増加/幼児を連れていきやすいお店の充実/キッチンカーの利用場所の増加/ 病院の充実・質の向上/授乳室やおむつ替えが気軽にできる場所の増加・充実/子育て支援施設の	14件
◇行政 産後の母乳外来支援/子育て支援金制度の充実/医療費助成の拡大/産後ケア支援の充実/妊娠・出 産・子育てに関するホームページが検索しにくい/経済的支援の拡充/マイナンバーの受取場所の増	8件
◇その他 小学校の老朽化/小学校にあがってから預ける場の充実/グラウンドや中高生が学習しやすい空間の 充実/彩夏祭の開催時期の変更/母乳育児に関する相談できる場/赤ちゃん連れでも参加しやすい イベントの充実	6件

4. 子育て支援施設職員・障害児関係団体アンケート調査

■調査実施概要

①子育て支援関係施設

種類	対象数	回収数	調査期間	調査方法
保育園	23件	12件	12月19日～ 1月19日	郵送配布 郵送又は WEB回収
放課後児童クラブ	6件	4件		
児童館	5件	5件		
子育て支援センター	5件	3件		

②障害児関係団体

種類	対象数	回収数	調査期間	調査方法
児童発達支援 放課後等 デイサービス	11件	7件	12月19日～ 1月19日	郵送配布 郵送又は WEB回収

③子どもの貧困に関する支援団体

種類	対象数	回収数	調査期間	調査方法
民生委員	-	-	12月19日～ 1月19日	メール配布 メール回収
学習支援団体	2団体	1団体	12月19日～ 1月19日	
子ども食堂	5団体	3団体	12月19日～ 1月19日	

■結果の概要

①子育て支援関係施設

◆主な意見

●子育て支援の観点から、当該施設のよいところ(保護者から評価されているところ)

- ・職員と保護者、職員と子どもたちの関係性が良好である。
- ・職員の入れ替わりが少なく、職員間の風通しが良い。
- ・施設がきれい、施設が駅から近く使いやすい、おもちゃや遊具が充実している。

●子育て支援の観点から、当該施設の改善すべきと思うところ

- ・設備の整備・改善(遊ぶスペースの確保、施設全体の老朽化等)。
- ・研修を積極的に活用し、職員の資質を向上させていきたい。
- ・(新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことも受け)利用者等との関わりを見直したい。
- ・電話での予約となっているが、ネットでの予約ができるようになってほしいという要望もある。
- ・重度心身障害のお子さんの利用が少なく、選択肢の一つになれていない。
- ・日本語が堪能でないご家庭に対するフォローが不十分である。

●日ごろの活動を通じて、保護者から寄せられる要望や意見

【市行政や子育てをめぐる環境全般について】

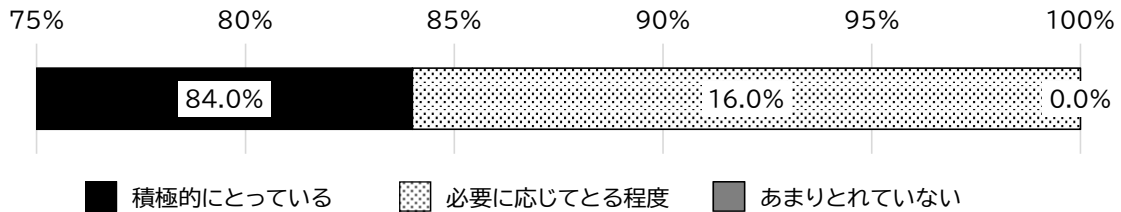
- ・駅にエレベーターがなく、不便である。
- ・4年生以降も学童保育が使えるようにしてほしい、学童施設を増やしてほしい。
- ・正社員職員が少なく、離職が多い。
- ・歩道が狭い、自転車のルールが周知徹底されていない。
- ・一時預かり保育枠が少ない。

【当該施設に対して】

- ・仕事以外でも子どもを預かってほしい、預かり時間について柔軟な対応をしてほしい。
- ・利用する際の荷物が多い。
- ・保育サービスの拡充(一時預かり保育や学童保育、0歳児保育等)
- ・子どもの普段の様子が知りたい。
- ・駐車場を増やしてほしい。

- 日ごろの業務を通じて、最近の子どもをみていて、考えさせられたこと、問題だと思ったこと
 - ・保護者の子どもへの関わり方が未熟である。子どもだけで遊ばせていることが多い。
 - ・躰が不十分、子どもの主体性ばかりが尊重されすぎている。悪い時にダメだと注意しづらい。
 - ・発達の遅れが気になる子どもがいる。
 - ・タブレット等の使用時間が長く、睡眠時間が不足している。
 - ・小中高生の金銭感覚、昔と比べると高価なものを持っていることが多い。

- ふだん、職員は保護者と積極的にコミュニケーションをとるようにしているか



- 保護者とコミュニケーションをとる際に気をつけている工夫

- ・誰がきてもあたたかく迎え入れる。初めて来館される方にわかりやすく、丁寧に説明する。
- ・相手の気持ちや立場を尊重し、コミュニケーションを取っている。
- ・質問や不安な点について丁寧に対応している。
- ・日頃の様子等を正直に伝えている、家庭でも協力してほしいことは積極的に伝えている。

- 保護者とコミュニケーションをとる際に困難だと感じていること

- ・新型コロナウイルス感染症の流行でコミュニケーションを取るのが難しかったが、最近改善されている。
- ・保護者のカウンセリングのようなことも依頼されるが、こういった医療機関・支援機関に繋げるべきかわからない。

- 朝霞市の子ども子育ての環境を充実させるために、現在不足していると感じるサービス・事業

- ・保育サービスの充実(一時預かり保育や休日保育、新4年生以上の居場所等)。
- ・子育てについて相談できる窓口や事業。
- ・サービス自体は充実していると思うが、その周知が不足している。
- ・保育士が不足している(住宅借り上げ事業がないことで 選択肢から外れている、処遇改善を充実させてほしい)
- ・障害児のお子さんや、外国人の親子に対する支援サービス。

②障害児関係団体

◆主な意見

- 朝霞市の子育て支援制度やサービス、子どもたちを取り巻く環境をみて、よいと思うところ

- ・子育て支援ガイドブックや、障害福祉課の窓口のパンフレット等 情報が得やすい。
- ・公園や児童館等 子どもの遊び場が充実している。
- ・児童発達支援事業所が多いので、子どもと相性が良い事業所を選べる。受給者証が発行されやすい。

- 朝霞市の子育て支援制度やサービス、子どもたちを取り巻く環境をみて、改善すべきと思うところ

- ・保育園等に連携(見学や訪問等)を断られるケースがある。
- ・障害発達検査や、療育を受けられるところが少ない。
- ・こういったサービスが行われているのかを把握できない、情報をまとめてほしい。

- 日ごろの活動を通じて、保護者から寄せられる要望や意見

【市行政や子育てをめぐる環境全般について】

- ・同じような悩みを抱えている保護者と交流をしたい、先輩ママの話が聞きたい。
- ・相談できる人・場所がない。
- ・就学相談の情報が少ない。
- ・補助金

【障害児施策に対して】

- ・保護者が就労を希望しているケースで、医療的ケア児を預かってくれる施設が少ない。
- ・相談支援事業所の空きがない。セルフプラン申請となることが心配。
- ・児童発達支援に比べて放課後等デイサービスの空きが少ない。療育を受けたくてもキャンセル待ちである。
- ・受給者証発行までの流れがわかりづらい。発行に時間がかかる、対応が冷たい。

●ふだん、保護者や児童本人から障害についてどのような悩みを寄せられた場合、どのような対応をすることが多いか

【福祉や保育に関することで】

- ・わかる範囲での情報提供をしている。
- ・すでに障害児が通所している保育園を紹介している。

【医療に関することで】

- ・かかりつけ医や総合病院等 内容に応じて案内している。
- ・てんかんの対処法について相談された際は埼玉県ZOOM研修をSNSで見つけ、紹介した。
- ・服薬に関する相談は、通所されているお子様の事例とともに病院への確認を推奨した。

【学校・教育に関することで】

- ・学校訪問や保育園訪問の実施。
- ・就学の相談であれば、卒園児の保護者の体験談をお話いただく機会をつくったり、朝霞市の修学オリエンテーション資料の提供等をしている。
- ・障害児が通える習い事について、営業で収集した情報を提供している。

【その他生活全般で】

- ・ゆっくりお話ができる時間を設けたり、相談支援員さんと内容を共有する等をしている。
- ・自宅での特性に対する対処方法は、療育目線でアドバイスをを行った。
- ・まずは悩みを聞いて、落ち着いてから提案するようにしている。

●朝霞市で子育てをするうえで、どのような情報が必要か

- ・サービスや支援をわかりやすくし、すべての園や学校は外部と繋がっていることを明示してほしい。
- ・子どもの育ちに心配があった時の相談先。
- ・障害を受け入れてくれる医療現場の一覧表。

●朝霞市の子ども子育ての環境を充実させるために、現在不足していると感じるサービス・事業

- ・障害児の一時預かり保育や、相談支援事業所。
- ・小学校と、保育園・幼稚園・児童発達支援の就学時の連携。
- ・子育て支援等の情報が得られるサービス。サービスについて情報収集したり、問い合わせができたりするアプリ。
- ・子どもが急遽体調不良になった際の預け先。

③子どもの貧困に関する支援団体

◆主な意見

●団体の活動について

- ・(民生委員)非常勤の特別職地方公務員で、地域住民の「身近な相談相手」であると同時に、「支援へのつなぎ役」。
- ・(学習支援)学習支援を通じて 子どもやその家庭が抱える課題について相談に応じている。
- ・(子ども食堂)地域子どもたちや子育て世帯へのお弁当配布、イベント食材配布、会食機会の提供等

●貧困家庭の子どもの状況、課題について

【保護者の特徴・課題】

<学習支援団体>

- ・生活保護世帯や外国人世帯が多く、世代にわたって生活保護を受給しているケースも多い。
- ・就労していないか、非正規雇用であることが多く、また精神的不調により家庭にいる時間が長い。
- ・排他的で他人を信用せず、課題を自ら抱え込んでしまうような保護者も多い。

<子ども食堂>

- ・ひとり親もいるが、お金の困っている様子はなく、どちらかという共働き世帯の方が税金でお金が残らず苦しそう。経験の貧困も見受けられる。
- ・ひとり親世帯や生活保護世帯には、現金給付ではなく、現物支給が必要だと感じる。
(現金だと保護者の私腹を肥やす家庭もある)

<民生委員>

- ・行政と民間団体、社会福祉協議会の枠を超えた連携が必要である。

【子どもの特徴・課題】

<学習支援団体>

- ・保護者が多忙だったり、生活能力が欠如したりで、ヤングケアラー状態になっている子どももいる。
- ・自己肯定感が低く、学力も低いことが多く、成功モデルが身近にいないことも課題である。

<子ども食堂>

- ・家庭の問題や課題があるような子はほとんど見受けられない。
- ・子どもたちだけで食べにきた子どもたちとは、積極的に親や生活の話を聞き取るようにしている。

<民生委員>

- ・お金の使い方がおかしかったり、食事ではなくお菓子でお腹を満たしているような子どももいる。
- ・コミュニケーション能力が乏しいと感じることもある。

【団体の活動で支援されている部分】

<学習支援団体>

- ・食糧支援を契機に世帯主・子どもとの関係作りを行い、学習教室への参加に結び付ける。

<子ども食堂>

- ・いつでも食事や食材の提供ができるようにしている。
- ・家庭内のトラブル等への相談・対応も行っている。

●貧困家庭の子どもに対して今後必要と思われる支援等(行政の支援、その他の支援含めて)

<子ども食堂>

- ・全地域の子どもたちに3か月に1回は会えるような、食材や弁当を届けられる制度。
- ・貧困家庭に対しては現物支給が必要だと思う。

<民生委員>

- ・長期休暇時に食事や居場所支援、またわかりやすい性教育。

●団体の活動で支援できていない部分、活動範囲外で支援を必要としていると思われる内容

<子ども食堂>

- ・学習支援や居場所の提供、本人の意思で来れる避難場所の提供。

●団体の活動における課題

<子ども食堂>

- ・対応できるメンバーが限られており、資金面も厳しいのが現状である。
- ・メンバーに子育て世代が多いので、夕方以降の体制が手薄になりやすい。
- ・拠点(場所)がないので、物品の荷受け場所や保管場所がない。

●今後について

<子ども食堂>

- ・活動場所を確保し、定期的な食料品配布の他に、学習支援等で子どもたちに長期的な支援を行いたい。
- ・月に一度の開催と、児童館への食事の提供を継続的に行いたい。

<民生委員>

- ・個人情報の取扱いとの折り合いが難しい。色々な立場の人と情報共有をしていきたい。
子どもを支援している団体や行政、保健師等と話し合う機会がほしい。

朝霞市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
報告書

令和6年3月

【編集・発行】 朝霞市こども・健康部 こども未来課・保育課
〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号
TEL: 048-463-1111(代表)
FAX: 048-467-0770